

津山市公共施設白書



平成28年2月
津山市

はじめに

私たちの生活や社会経済活動は、道路・橋りょう・上下水道等のインフラと、学校・福祉施設等の公共施設（以下「公共施設等」という。）によって支えられています。

現在、日本各地では、高度経済成長期から昭和 60 年代にかけて整備された公共施設等が、建設後 30 年を経過し老朽化が進み、今後一斉かつ大量に更新時期を迎えます。特に、平成 24 年に発生した中央自動車道笹子トンネル天井板落下事故が契機となり、公共施設の老朽化に対する関心が強まりました。また、これら公共施設等の更新には多額の財政負担が想定されることから、『公共施設等の更新問題』は、国や自治体における最重要課題としてとらえられています。

津山市は、これまでも一部の公共施設について統廃合や譲渡などを行っていますが、数年後には他自治体と同様に、大量の公共施設等が一斉に更新時期を迎えます。このため、こうした課題の到来を見据え、管理・所有する公共施設等の現状を的確に把握するとともに、データベース化（見える化）し、公共施設全体のあり方について検討を行うことが必要不可欠です。

津山市公共施設白書は、これからの時代に相応しい公共施設や公共サービスのあり方を検討するため、津山市が所有している公共施設の建築年次や配置状況、利用状況や稼働状況、また施設の維持管理に要する経費の調査、施設の老朽化診断結果などから、本市の現状と課題を把握することを目的として作成しています。また、この課題解決に向けて、津山市ファシリティマネジメント委員会の答申を踏まえた、「公共施設マネジメント基本方針」を記載しています。

今後はこの白書で示した基本方針に沿って、それぞれの公共施設の将来計画を策定し、具体的な取り組みに着手する段階に移っていきます。公共施設と公共サービスの将来の姿を市民の皆さまと共に考え、知恵を出し合い、安全な公共施設と将来にわたり持続可能な公共サービスの維持を目指します。公共施設は津山市民全員の財産です。一緒にこの課題解決に取り組んでまいりましょう。

「彩りあふれる花開く 津山の創造」を実現するため、今後とも市民の皆さまのご理解とご協力、ご参画をいただきますようお願い申し上げます。

平成 28 年 2 月

津山市長 宮 地 昭 範

目次

津山市公共施設白書

はじめに

第1章 津山市の概要

1 概要	1
2 人口動向・推計	2
(1) 総人口・世帯数の推移	
(2) 将来人口	
(3) 年齢別人口	
3 財政状況	5
(1) 歳入・歳出決算の推移	
(2) 投資的経費(普通建設事業費)の推移	
(3) 今後の財政見通し	

第2章 施設等の状況

1 延床面積の割合	9
2 建築年度別整備状況	10
3 耐震化の状況	11
4 施設現地調査結果	12
5 更新費用の試算	15

第3章 個別施設の状況

1 床面積ランキング	17
2 築年数ランキング	18
3 利用状況比較	19

第4章 公共施設の抱える現状と今後の方針

1 現状と課題	21
2 公共施設マネジメント基本方針	22

第5章 参考資料

1 公共施設配置図	25
-----------	----

【別添】

- 現地調査カルテ
- 施設別カルテ

第1章 津山市の概要

1 概要

平成17年2月28日、旧津山市・加茂町・阿波村・勝北町・久米町の5市町村が合併し、現在の「津山市」が誕生しました。

この5市町村を含む岡山県北の津山地域は、古くから生活圏をともにし、社会・経済・文化等の面で強いつながりをもって発展を遂げてきました。

しかし、地方分権の進展、自動車社会到来による生活圏の広域化、住民ニーズの多様化・高度化、少子高齢化等、社会経済情勢の著しい変化に適切に対応するため、各自治体での行財政基盤の強化と併せて広域行政の拡充が進められてきました。

このような状況下、国は平成11年に「合併特例法」を改正するなどして市町村合併の推進を表明し、全国で合併論議が急速にわき起こることとなりました。これを受け、津山地域においても、平成14年10月に「津山地域合併準備協議会」、同年12月に「津山地域任意合併協議会」、そして平成15年4月に法定の組織として「津山地域合併協議会」を設置・協議を重ねた結果、上記5市町村が合併に至り、県北初の10万人都市となりました。

市町村合併の沿革

旧津山市

明治4年津山県となり、同22年に町村制施行により津山町が発足しました。昭和4年に市制が施行され、昭和16年に東苦田村・佐良山を編入、昭和29年に田邑村など10村を編入、昭和30年に檜・堂尾・池が原を編入し、旧津山市が誕生しました。

加茂町

明治22年、上加茂村・加茂村・東加茂村・西加茂村が設置され、このうち加茂村は大正13年に町制が施行されました。さらに、昭和17年に加茂町・東加茂村・西加茂村が合併して加茂町となり、昭和26年に加茂町から元加茂町の区域が分離して、新加茂町となりましたが、昭和29年に上加茂村・新加茂町・加茂町が合併して加茂町が誕生しました。

阿波村

明治22年に阿波村に村制が施行されて以来、一度も合併することなく連綿として一村を保っていました。

勝北町

明治9年に北条県を廃し、岡山県の管轄となりました。明治22年の町村制施行により、新野村・広戸村・勝加茂村となり、次いで昭和30年に同3村が合併し（同年に檜地区が津山市に編入）勝北町が誕生しました。

久米町

明治維新頃に諸藩に分かれていた領地は、明治22年の町村制施行により久米村・大井西村・大井東村・大倭村・倭文東村・倭文中村の6村になり、その後順次合併を重ねながら昭和30年大井町・久米村・倭文村が合併し、久米町が誕生しました。

2 人口動向・推計

(1) 総人口・世帯数の推移

本市の総人口は、高度経済成長期から増加が続いていましたが平成7年をピークに減少に転じ、平成27年には103,714人と、平成17年の市町村合併時(110,569人)と比べても6.2%の減少となっています。

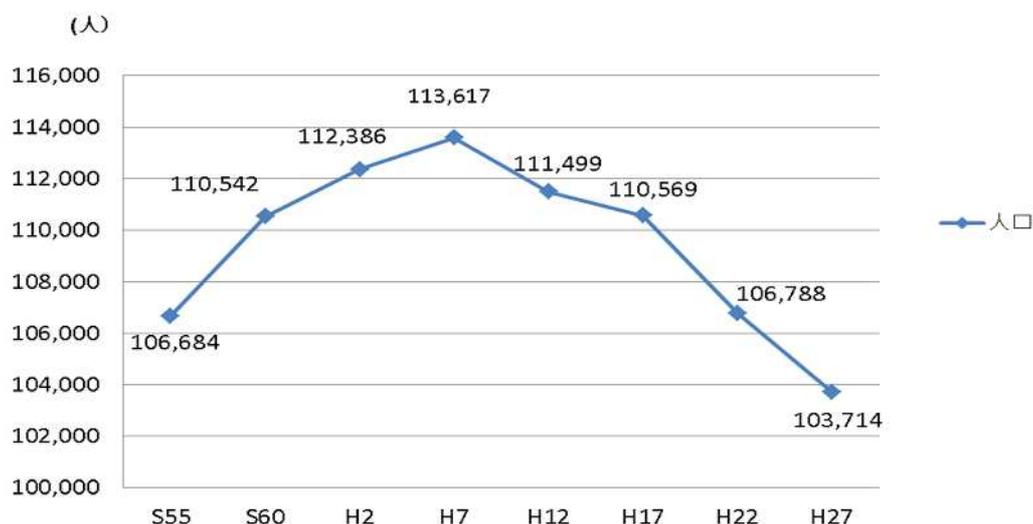
一方、世帯数はゆるやかに増加を続け、核家族化の進展による単独世帯、特に高齢者の単独世帯が増えているため、平成27年には40,304世帯となっています。

データの見方【総人口の推移】【世帯の推移】

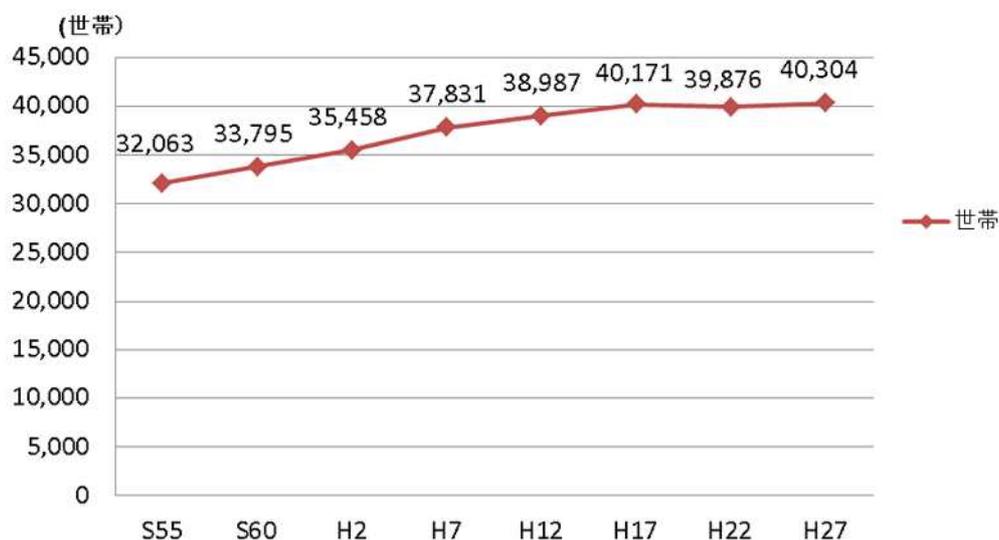
数値参照元

- ・昭和55年～平成22年までの「人口」「世帯数」は「国勢調査」、平成27年の「人口」「世帯数」は「平成27年国勢調査(速報)」から参照しています。

総人口の推移



世帯の推移

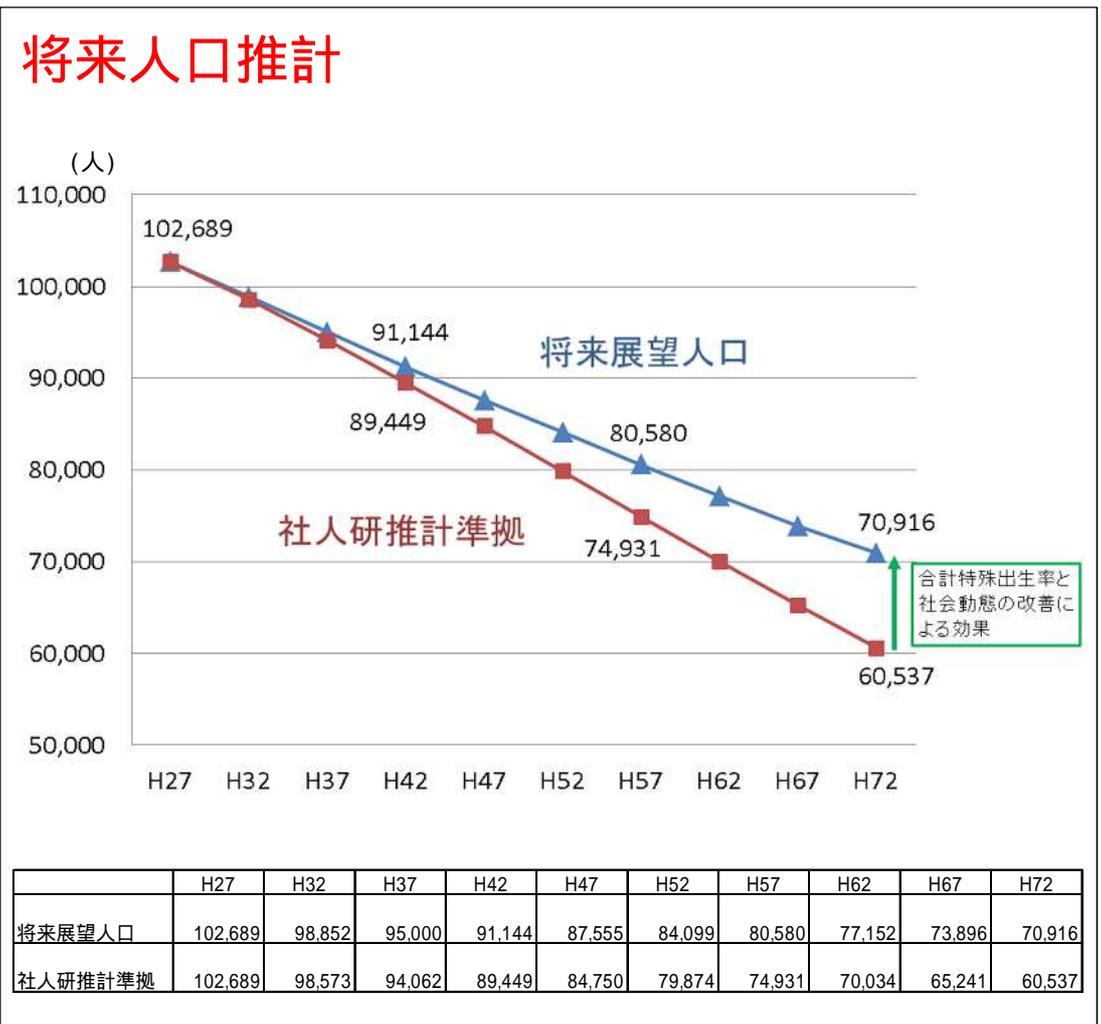


(2) 将来人口

本市の人口（旧加茂町・旧阿波村・旧勝北町・旧久米町を含む）は平成7年の国勢調査では11万3千人を超えるまで増加していましたが、これをピークに減少に転じ平成22年の国勢調査では10万7千人を割り込み、6千8百人以上の減少となっています。

津山市第5次総合計画の人口推計では、このまま少子化と人口流出に歯止めがかからなければ、50年後の人口が5万人を下回る可能性があるという極めて厳しい推計もなされる中、本市では「津山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を平成27年10月に策定し、2060年（平成72年）に70,916人以上の人口を維持することを目標に掲げ、合計特殊出生率の向上や若者・子育て世代を中心とした社会減に歯止めをかけるため、結婚・出産から子育ての希望がかなう環境の整備や多様な就業の希望がかなう雇用環境の創出など、若年層をはじめとしたUIJターンを促進するための施策を進めています。

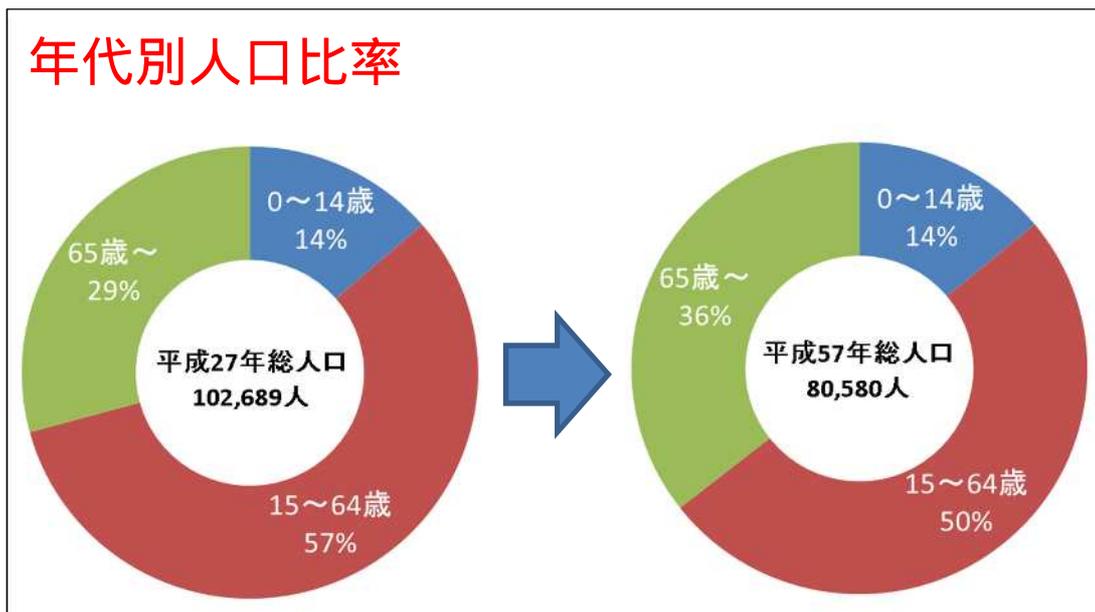
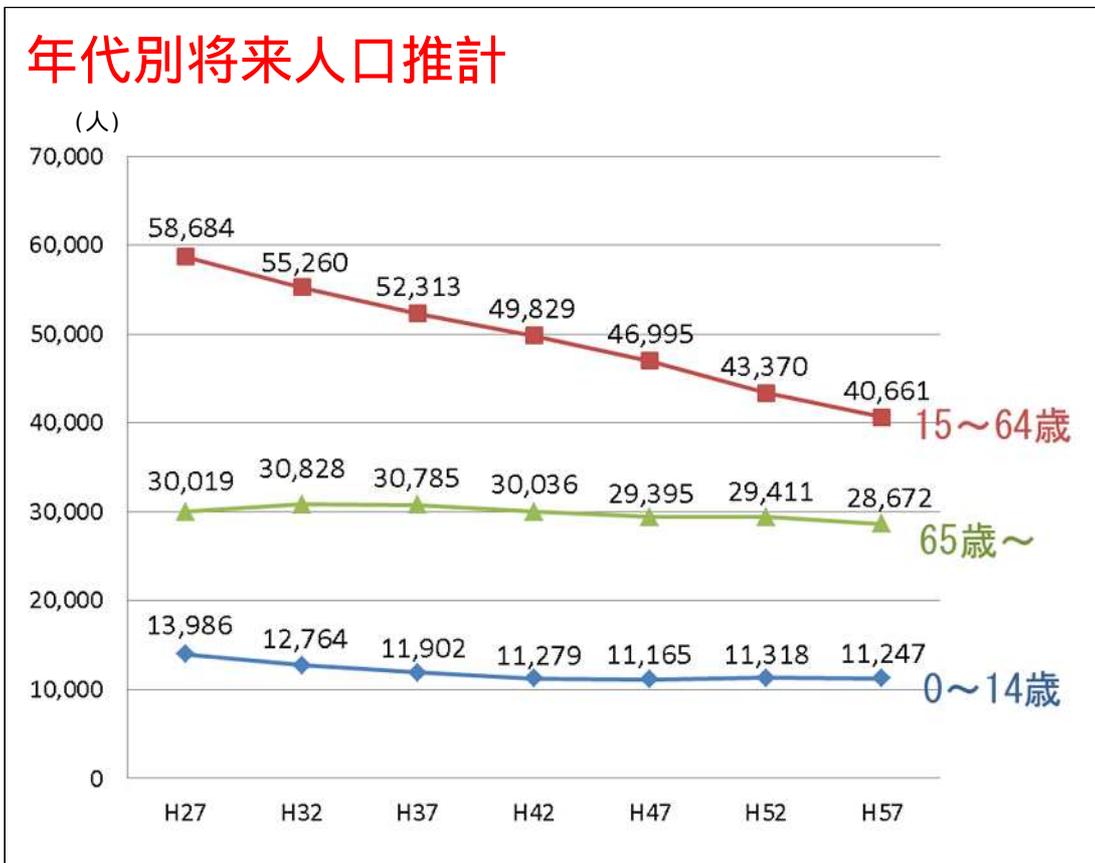
データの見方【将来人口推計】【年代別将来人口推計】	
数値参照元	
<ul style="list-style-type: none"> ・「将来人口推計」は「日本の地域別将来推計人口」(国立社会保障・人口問題研究所)及び、「将来展望人口」(津山市まち・ひと・しごと創生総合戦略)から参照しています。 ・「年代別将来人口推計」は「将来展望人口」(津山市まち・ひと・しごと創生総合戦略)から参照しています。 	



(3) 年齢別人口

年齢別人口では、生産年齢人口（15～64歳）の割合が減少し、高齢者人口（65歳以上）の割合が増加して高齢化が一層進むことが予想されています。

具体的には、平成27年と平成57年の年齢階級別の人口構成を比較すると、高齢者人口が約1千3百人の減少に対し、生産年齢人口が約1万8千人の減少と想定され、総人口の減少に伴い年齢別構成比率も変化することが分かります。



3 財政状況

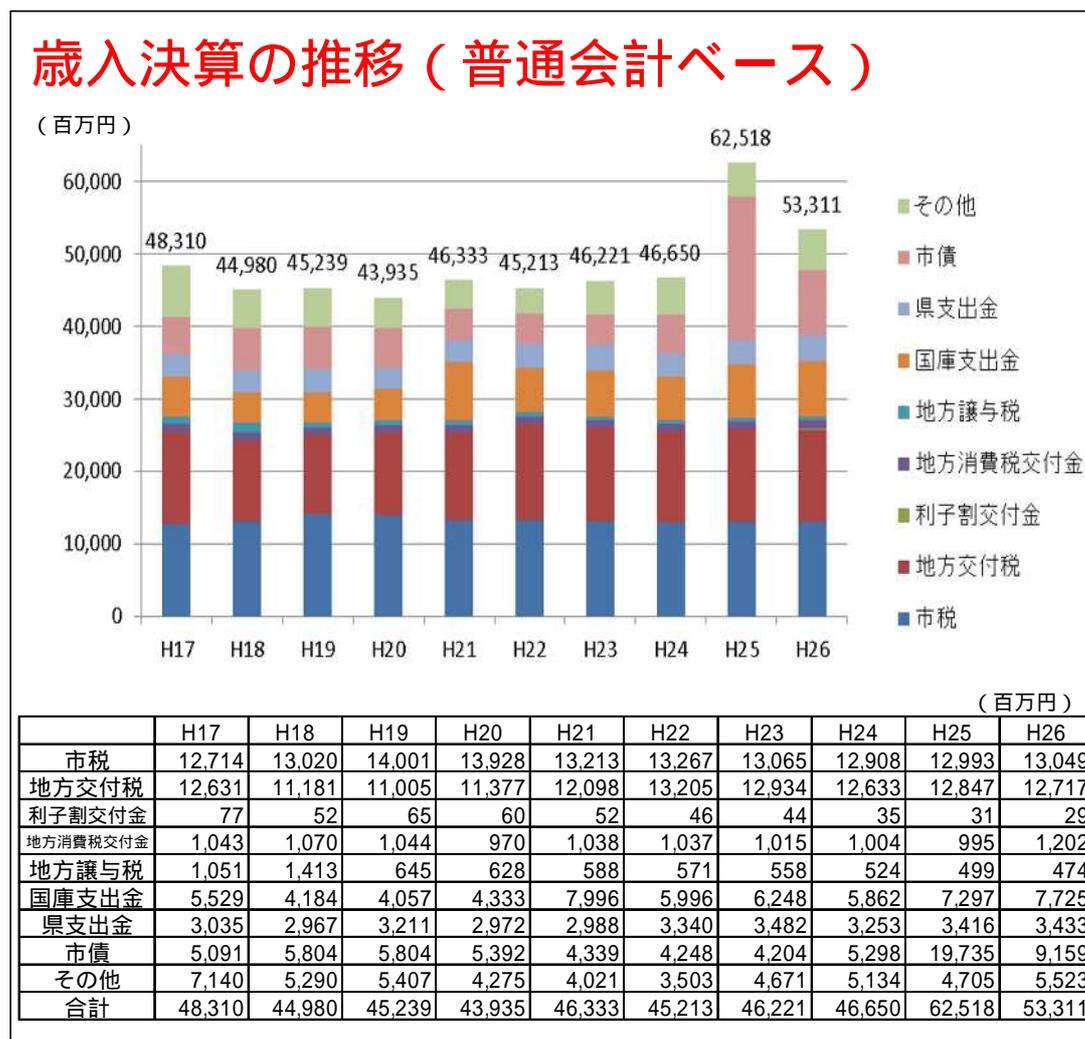
(1) 歳入・歳出決算の推移（平成16年度～平成26年度）

歳入決算については、合併以降、平成20年度までは、国の三位一体改革による地方交付税の大幅な減額などから減少傾向となり、合併時（平成16年度）の489億円が平成20年度には439億円まで減少しました。

その後、平成21年度以降は国の経済対策関係の各種交付金などから増額に転じ、平成24年度までは概ね460億円規模となっていました。平成25年度においては土地開発公社清算に伴い発行した第三セクター等改革推進債113億5千万円などから625億円と過去最大の規模となりました。また、平成26年度は小中学校耐震化事業の実施に伴う国庫支出金及び市債発行やがん陽子線治療センター整備に伴う地域総合整備事業債の発行等により、歳入決算額は533億円となっています。

歳入の主な動向として、本市の主要な自主財源である市税については、平成16年度以降平成20年度までは国の税制改正による税源移譲などから増加傾向にあり、平成16年度の123億円が平成19年度には140億円となりました。その後、平成21年度以降は全国的な経済不況、景気低迷の中で減少し、平成23年度からは約130億円となっています。企業誘致等による増収に努めておりますが、現状では今後においても大幅な増額は見込めない状況です。

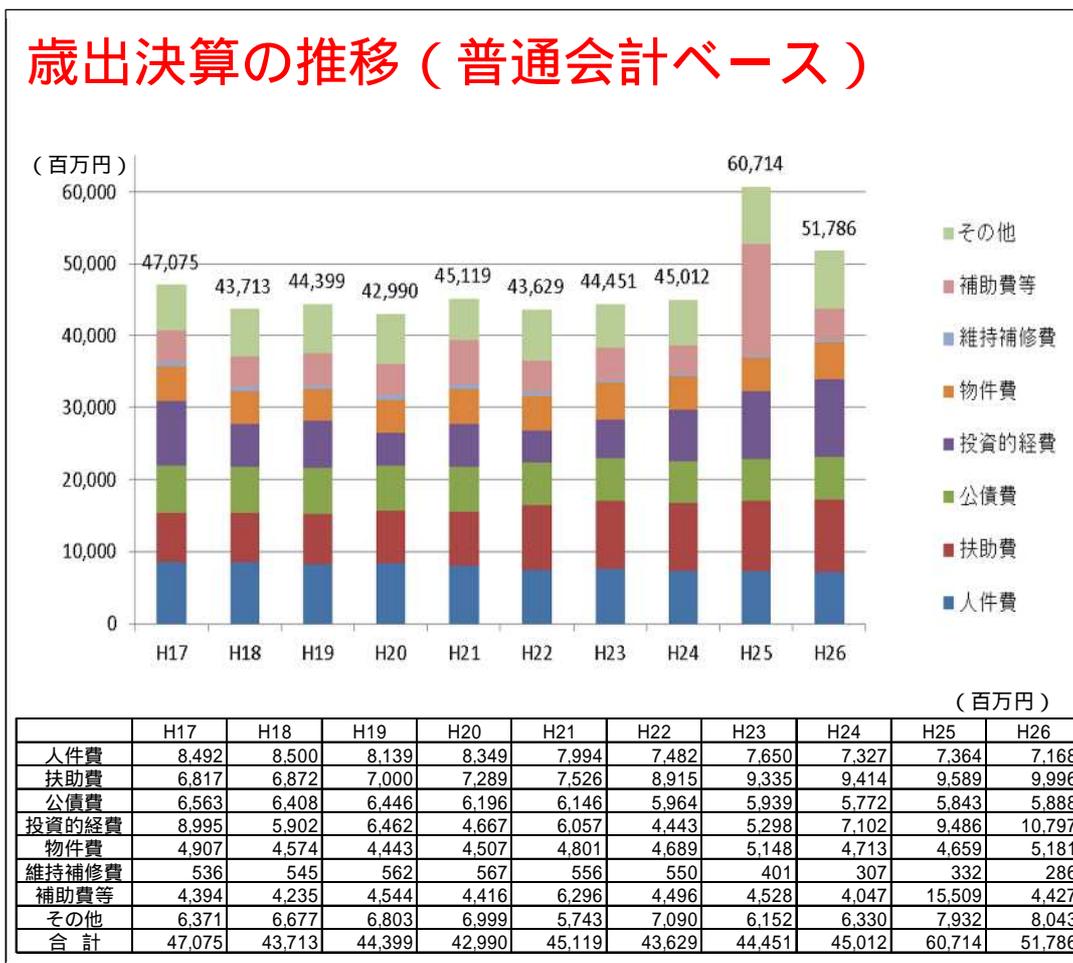
また、地方交付税については、合併特例期間終了後の平成27年度以降、合併算定替による上乗せ額が段階的に縮減され、最終的には全額が減額となる見込みです。



歳出決算については、合併以降、地方交付税等の歳入が減少する中、行財政改革の取組強化により人件費や投資的経費の抑制を図ったことなどから、決算額は合併直後（平成 17 年度）の 471 億円が平成 20 年度には 430 億円まで減少しました。

その後、平成 21 年度以降は国の経済対策の活用による投資的経費の増加や社会保障関係経費（扶助費等）の伸びなどから増額となり、平成 24 年度までは概ね 450 億円規模となっていました。平成 25 年度においては、土地開発公社借入金の代位弁済 113 億 5 千万円などから 607 億円と過去最大の規模となっています。平成 26 年度は、臨時福祉・子育て世帯臨時特例給付金や小中学校耐震化事業の実施などにより、歳出決算額は 518 億円となっています。

歳出の主な動向として、人件費については職員定数の削減などから減少傾向にありますが、扶助費については高齢化の進展に伴う社会保障関係費の増加などから今後も増加が続くものと見込まれます。

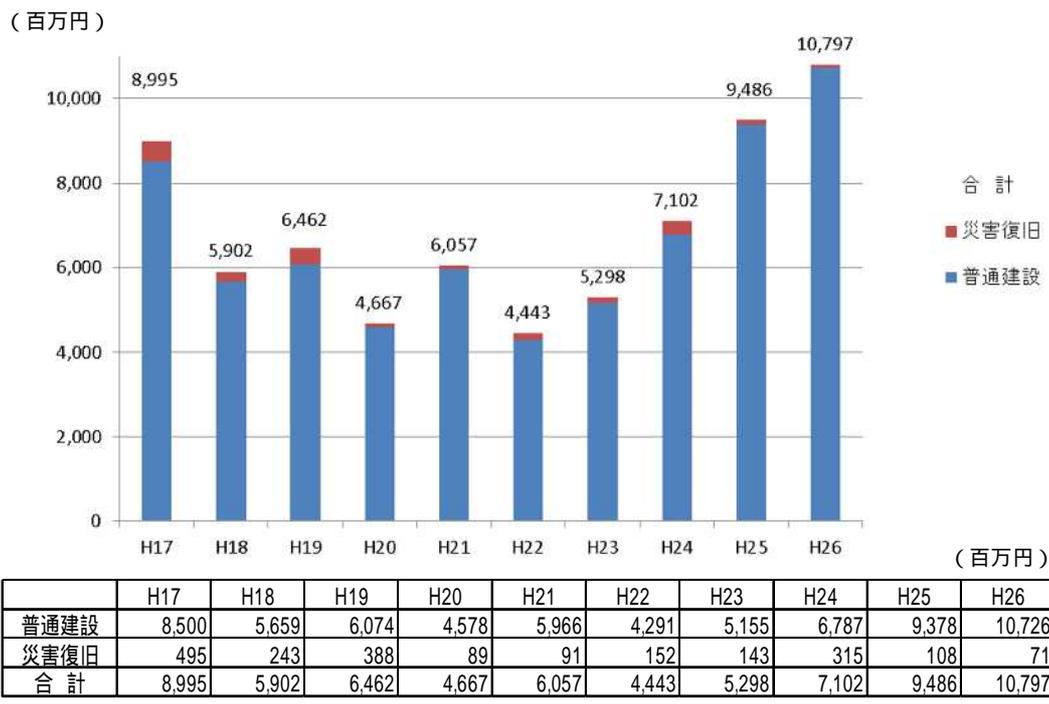


（ 2 ）投資的経費（普通建設事業費）の推移

投資的経費については、合併直後（平成 17 年度）は約 90 億円でしたが、平成 18 年度以降は、第 4 次総合計画に基づいた計画的な事業執行に努め、平成 18 年度から平成 23 年度までは概ね 50 億円から 60 億円程度となっています。

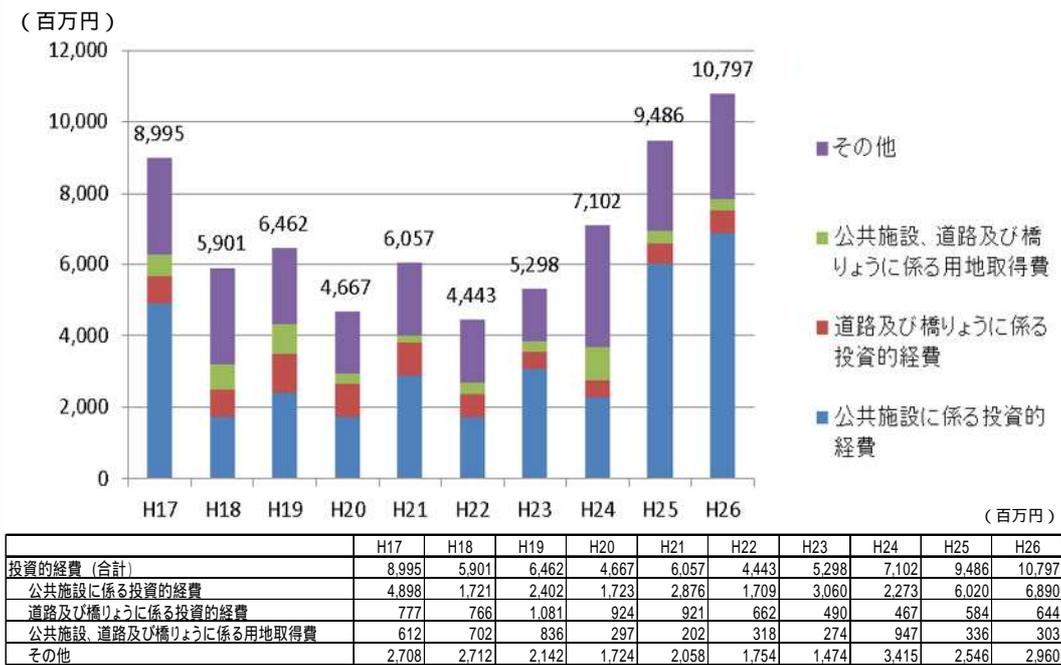
その後、平成 24 年度から平成 26 年度においては国の経済対策に対応して、小中学校施設の耐震化等の学校教育施設整備事業や津山駅周辺整備事業等の中心市街地活性化対策事業などに積極的に取組んだことから大幅な増額傾向となっています。

投資的経費（普通建設事業費）の推移



投資的経費には公共施設に係る投資的経費だけでなく、道路・橋りょうに係る投資的経費や、用地取得費が含まれています。現在津山市が公共施設の建設、改修のために支出している投資的経費に注目すれば、平成26年度は前年度に引き続き小中学校施設の耐震化等の公共工事を積極的に実施したことから、過去10年で最高額となった平成25年度を上回る68億9千万円を支出しており、過去5年間の平均額は39億9千万円となっています。

投資的経費（普通建設事業費）の内訳

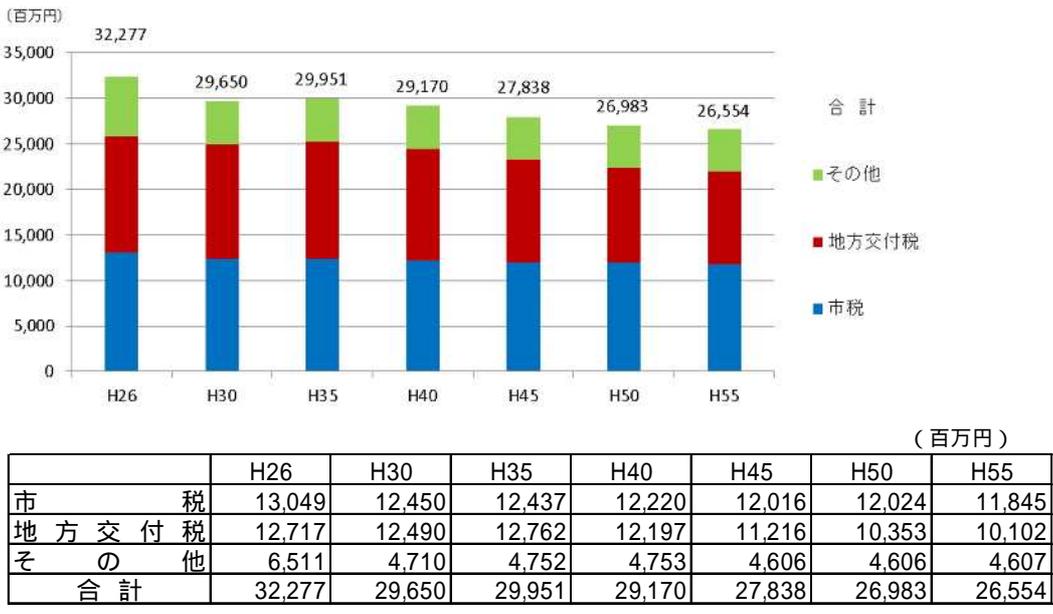


(3) 今後の財政見通し【津山市財政計画（長期財政見通し）より】

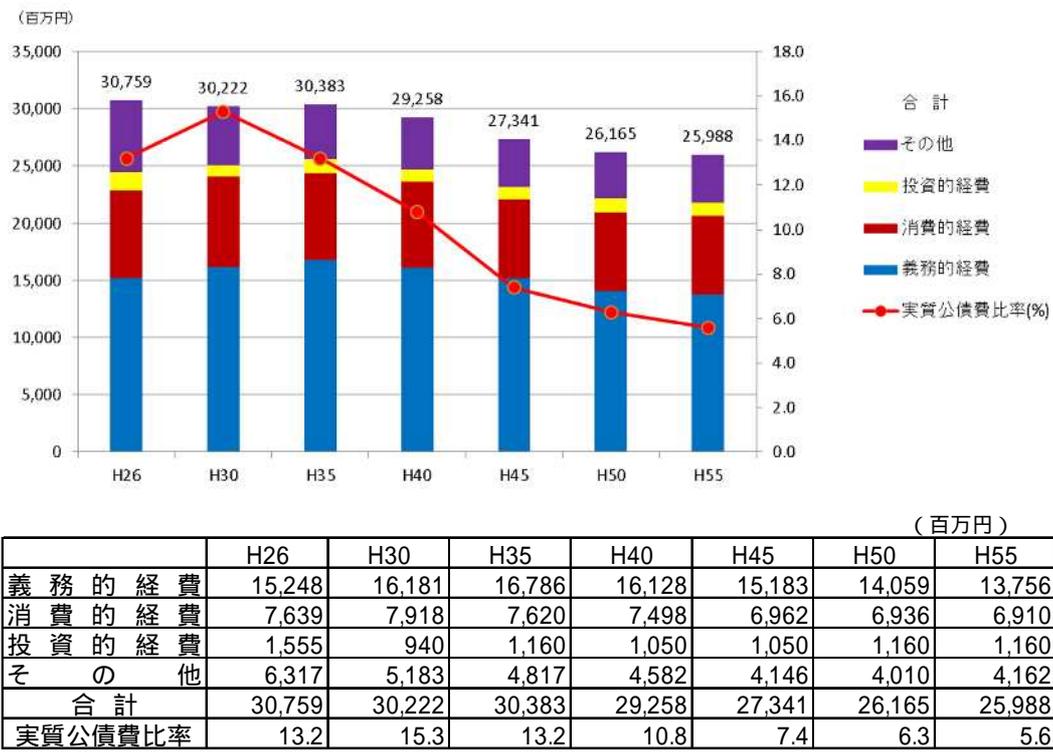
一般財源歳入については、市税や地方交付税の減額などから減少傾向が続くものと推計され、平成26年度の322億円が、平成30年度には296億円、平成40年度には291億円、平成55年度には265億円になるものと見込まれます。

一方歳出については、高齢化の進展により社会保障関係経費が今後も増加の一途をたどることが予測されるため、歳入に見合った行政運営を行うためには、今後、さらに一層の行財政改革の推進による歳出全体の抑制を図らざるを得ない状況となっています。

今後の歳入見通し【一般財源ベース】



今後の歳出見通し【一般財源ベース】



第2章 施設等の状況

これからの公共施設のあり方を考えていくために、まずは公共施設のありのままの姿（現状）を知ることがスタートになります。津山市では公共施設の現況データを集約するために、平成27年7月に各施設所管課に対して「公共施設調査票」の作成を依頼しました。

第2章では、各施設の公共施設調査票のデータから読み取れる「公共施設全体の姿」を知っていただくため、「延床面積の割合」「建築年度別整備状況」「耐震化の状況」「施設現地調査結果」「更新費用の試算」を示していきます。

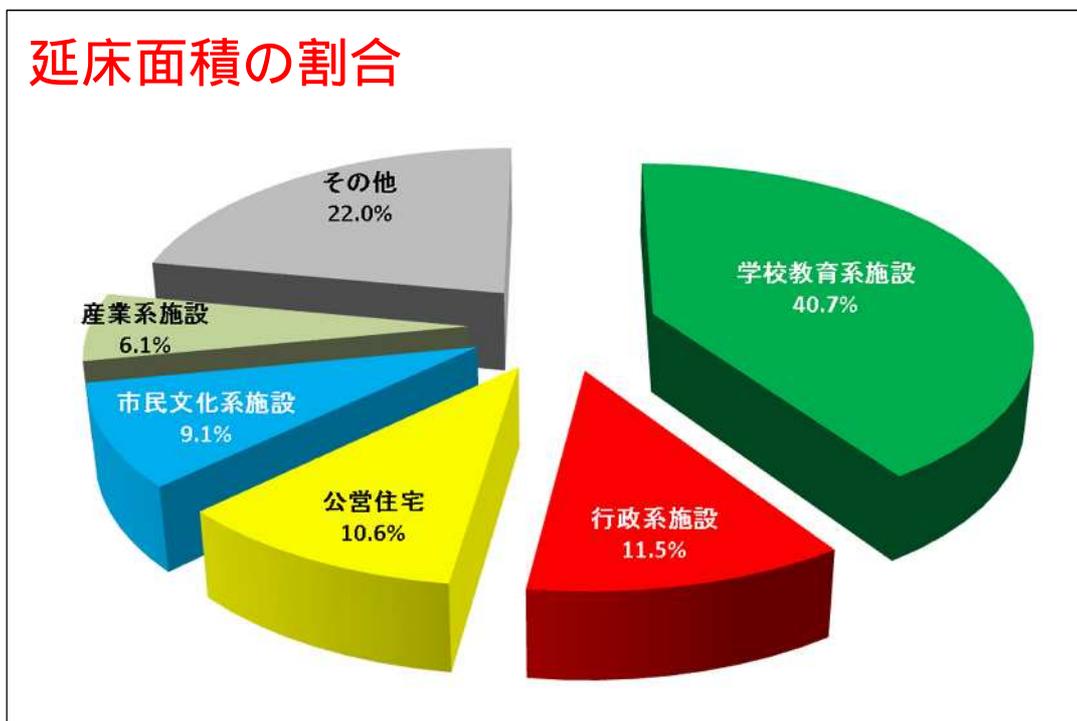
データの見方【共通事項】

対象施設

- ・公共施設のうち建物、いわゆる「ハコモノ」を対象としたものであり、「建物を有しない公共施設（駐車場、公園等）」およびインフラ（道路、橋りょう、上下水道管等）は含みません。
- ・平成27年3月31日時点で津山市が保有している施設を対象としています。

1 延床面積の割合

下のグラフは、津山市の公共施設（全602施設、総延床面積485,625.45㎡）のうち分類別に占める割合を示したものです。集計の結果、「学校教育系施設（40.7%）」が最も高く、次いで市役所本庁舎等の「行政系施設（11.5%）」、「公営住宅（10.6%）」津山文化センター等の「市民文化系施設（9.1%）」となっています。



津山市の市民一人当たりの公共施設延床面積は **4.42 m²/人** となっています。津山市と人口及び産業構造が類似している全国の自治体の平均 (4.78 m²/人) と比較すると平均的な数値となっており、津山市も他の類似自治体と同等規模の公共施設が建設、整備されてきたことがわかります。

データの見方【類似自治体における「公共施設一人当たり床面積」】

数値参照元

- ・「人口」及び「公共施設総延床面積」は、総務省「平成 25 年度住民基本台帳に基づく人口」及び「公共施設状況調査経年比較表」から参照しています。
- ・津山市と類似自治体として、「人口 10 万人以上 15 万人未満」、「人口密度 100 人/km²以上 300 人/km²未満」かつ「第 3 次産業人口 55%以上 (津山市：68.1%)」の自治体を比較対象としています。

人口及び産業構造の類似自治体における「公共施設一人当たり床面積」

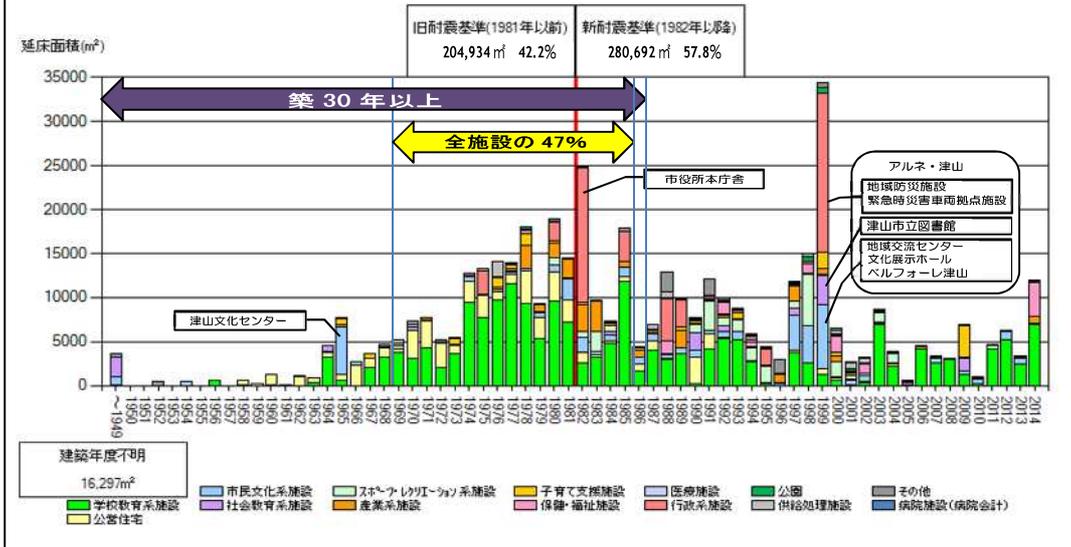
自治体名	市域面積 (km ²)	人口(人) (H26.1.1)	人口密度 (人/km ²)	H25年度公共施設 総延床面積 (m ²)	1人当たり床面積 (m ² /人)
鹿児島県 霧島市	603.15	128,156	212	851,980	6.64
佐賀県 唐津市	487.48	128,740	264	796,273	6.18
岩手県 花巻市	908.32	100,722	110	561,679	5.57
宮崎県 延岡市	868.09	130,834	150	718,518	5.49
山形県 鶴岡市	1,311.51	134,630	102	717,565	5.32
石川県 白山市	755.17	113,010	149	589,013	5.21
長野県 佐久市	423.99	100,166	236	520,178	5.19
鹿児島県 鹿屋市	448.33	105,607	235	515,619	4.88
山口県 岩国市	873.85	143,258	163	694,822	4.85
愛媛県 西条市	509.07	113,801	223	543,711	4.77
山形県 酒田市	602.79	109,358	181	513,892	4.69
栃木県 鹿沼市	490.62	101,599	207	458,437	4.51
岡山県 津山市	506.36	105,557	208	467,591	4.42
広島県 廿日市市	489.42	117,623	240	517,989	4.40
宮城県 大崎市	796.76	135,623	170	568,829	4.19
石川県 小松市	371.13	108,980	293	447,605	4.10
新潟県 三条市	432.01	102,489	237	419,137	4.08
熊本県 八代市	680.60	132,418	194	537,710	4.06
新潟県 新発田市	532.82	101,571	190	379,602	3.73
栃木県 那須塩原市	592.82	118,885	200	401,826	3.37
				平均	4.78

2 建築年度別整備状況

次のグラフは、公共施設を建築年別に集計したものを示しています。現在津山市が保有している施設の 47% が、高度経済成長期 (昭和 45 年頃から昭和 60 年頃) に建築され、築 30 年以上経過していることがわかります。また年度ごとに注目すると昭和 57 (1982) 年と平成 11 (1999) 年が目をつけます。平成 11 年のほとんどを占めているのは図書館や音楽ホール、災害時緊急車両施設である「アルネ・津山」です。

また、昭和 57 年に建築された「行政系施設」は「市役所本庁舎」、昭和 40 (1965) 年に建築された「市民文化系施設」は「津山文化センター」で、いずれも旧耐震基準で建てられた大型施設です。

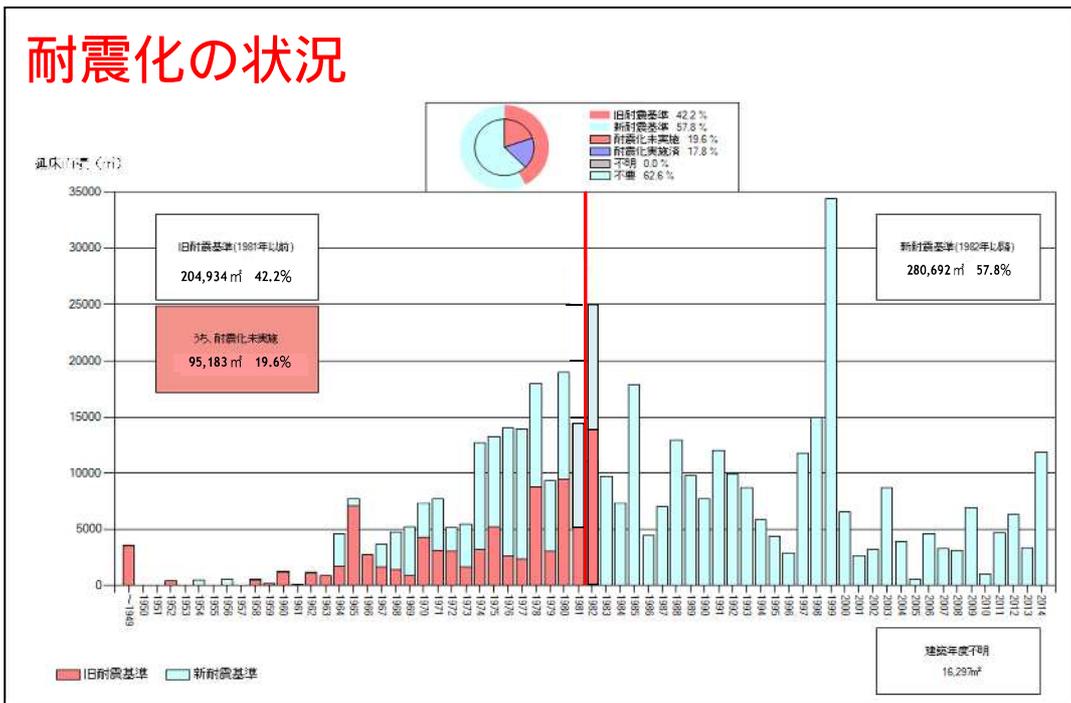
建築年度別整備延床面積



3 耐震化の状況

下のグラフは、津山市が保有する施設の耐震化の状況を示しています。昭和56(1981)年以前に設計、建築された建物には、現在の耐震化基準を満たす義務付けがされていませんでした。津山市では小・中学校においては平成24年度から耐震改修が必要な校舎などの耐震化工事に取り組み、平成26年度末に全て完了しました。

なお、市役所本庁舎など耐震化が求められる施設については、今後耐震化工事を実施していく必要があります。

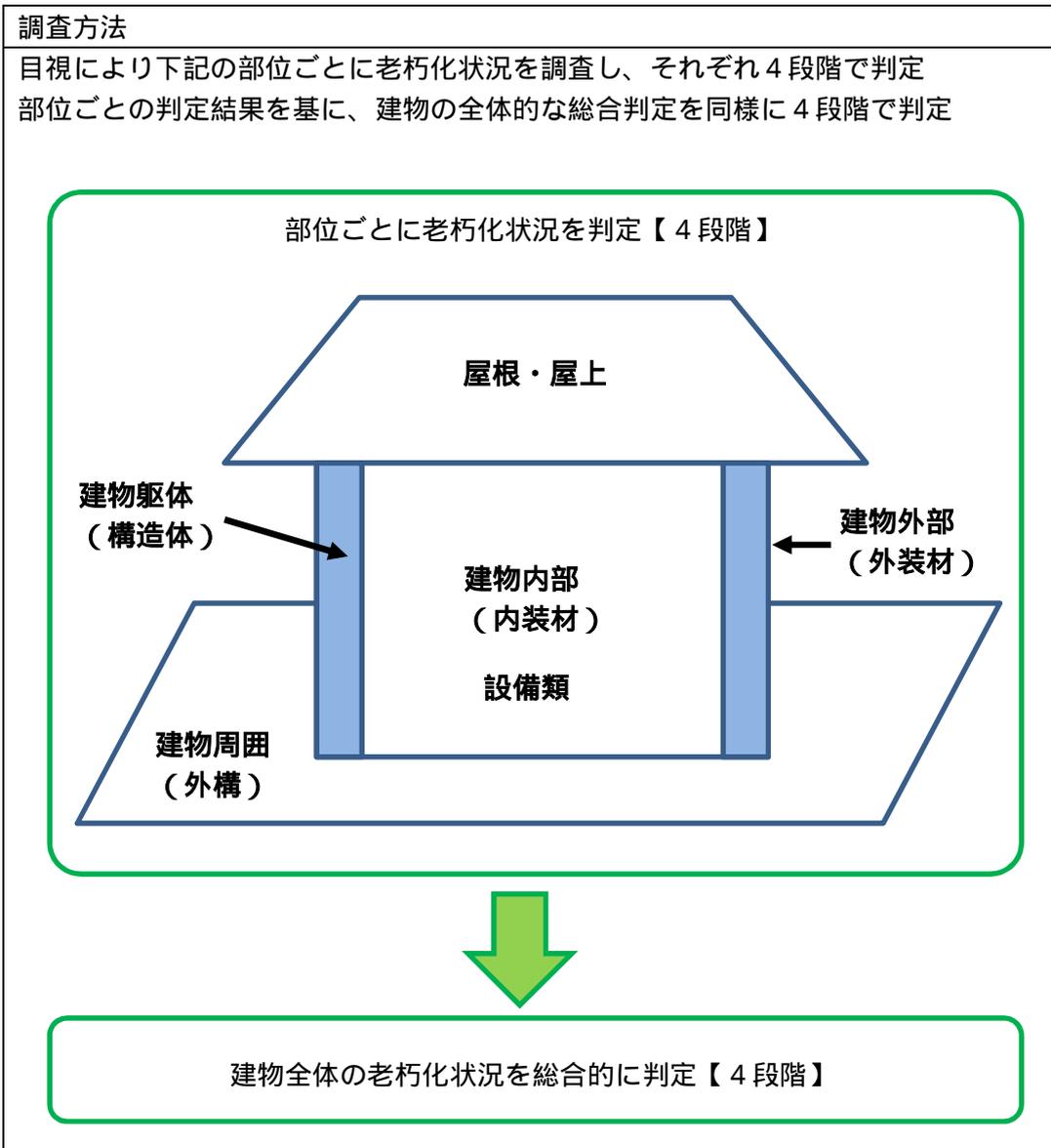


昭和57(1982)年に完成した「市役所本庁舎」は旧耐震に基づく設計のため、耐震改修が必要な建物になります。

4 施設現地調査結果

津山市では建物の老朽化の状況を調べるため、市が保有している 147 施設（165 棟）について、市の建築技師及び電気技師による施設の現地調査を平成 27 年度に行いました。調査は原則として目視可能な範囲にて行い、建物の部位ごとに老朽化状況を A～D の 4 段階で判定し、加えて総合判定を同様に A～D の 4 段階で判定しました。

調査対象
津山市が保有する公共施設のうち以下の施設を除いたもの <ul style="list-style-type: none">・ 特定少数の者が利用する施設（小規模な地元町内の集会施設、市営住宅等）・ 床面積が概ね 100 m²以下の小規模施設（公衆便所、消防機庫等）・ 廃止がすでに決定している施設（環境事業所等）・ 新築後、概ね 5 年以内の施設・ 建築技師による点検が日常的に行われ維持管理されている施設（小・中学校）・ 特殊機器が主体で更新年数の想定が困難な施設 (上下水道施設等のプラント系施設)



判定レベル	
A	新品または新築時と同等のレベル
B	多少の劣化は認められるが、機能上支障がないレベル 汚れ、若干の損傷、軽度の腐食程度
C	近い将来に更新を要するレベル 腐食の進行が進み、機能に支障が出る程度の劣化
D	更新が必要なレベル 機能不全や使用上危険な状態



調査の結果、総合判定を「D（更新が必要なレベル）」と判定した建物が 14 棟あり、「C（近い将来に更新を要するレベル）」と判定した建物（55 棟）を合わせると、今回調査を行った建物のうち 40%以上の建物が、早い時期に更新を要するレベルまで老朽化しているということが判明し、公共施設の老朽化が予想以上に深刻化している実態が明らかになりました。

築年数が浅く比較的新しい施設においても、立地条件や建物環境などの要因により、劣化の進行が早い施設も見られました。その一方で、例えば作州民芸館や中島病院旧本館のように、長寿命化工事や修繕工事が施され、古くても良好に保全されている施設もあります。また、日常的な維持管理が良好に行われていることで、築年数の大小に関わらず A 判定や B 判定といった高い評価となった施設もありました。このことから、建物は新築として建てる時点はもちろんですが、その後の維持・保全がいかに重要であるかということがわかります。

施設の老朽化や劣化状況の一例



なお、各施設の現地調査結果については別冊の「現地調査カルテ」に記載していますので、詳しくはそちらをご参照ください。

施設現地調査票

施設番号 1 建物用途 平野庁舎

所在地 中央公民館 棟名 本館棟

調査対象 生活学習室 生活学習室 140

調査日時 平成28年 調査面積 15,700㎡

建物タイプ 2階建て

調査施設 調査施設 建築年度 1972年 築年数 34年

調査対象の構造 鉄骨鉄筋コンクリート造 調査日時 13年10月 撮影 2014年05月

調査内容 外観調査、傾斜調査、材料調査、土壌調査

調査範囲 調査対象 1階部分

調査結果

調査対象	調査結果
躯体	C
基礎	C
外装	B
内装	D

躯体調査

躯体構造: 鉄骨鉄筋コンクリート造

躯体調査結果: 躯体構造は健全

基礎調査

基礎構造: 基礎コンクリート造

基礎調査結果: 基礎構造は健全

外装調査

外装構造: 外装はタイル張り

外装調査結果: 外装は劣化

内装調査

内装構造: 内装は木造

内装調査結果: 内装は劣化

調査結果

調査日時: 2014年05月

調査場所: 平野庁舎

調査者: 調査員

施設現地調査票

施設番号 143 建物用途 平野庁舎

所在地 市民体育会館 棟名 市民体育会館

調査対象 市民体育会館 市民体育会館 1

調査日時 平成28年 調査面積 21,200㎡

建物タイプ 2階建て

調査施設 市民体育会館

調査施設 建築年度 1982年 築年数 31年

調査対象の構造 鉄骨鉄筋コンクリート造 調査日時 13年10月 撮影 2014年05月

調査内容 外観調査、傾斜調査、材料調査、土壌調査

調査範囲 調査対象 1階部分

調査結果

調査対象	調査結果
躯体	C
基礎	C
外装	B
内装	D

躯体調査

躯体構造: 鉄骨鉄筋コンクリート造

躯体調査結果: 躯体構造は健全

基礎調査

基礎構造: 基礎コンクリート造

基礎調査結果: 基礎構造は健全

外装調査

外装構造: 外装はタイル張り

外装調査結果: 外装は劣化

内装調査

内装構造: 内装は木造

内装調査結果: 内装は劣化

調査結果

調査日時: 2014年05月

調査場所: 市民体育会館

調査者: 調査員

別冊「現地調査カルテ」

5 更新費用の試算

下のグラフは今後40年間に必要な公共施設の大規模改修及び更新(建替)費用を、試算した結果を示したものです。

試算の結果、現在津山市が保有している全ての公共施設を更新(建替)した場合、今後40年間で必要とされる大規模改修及び更新費用は1,913億5千万円となり、今後40年間、公共施設の既存更新費用と新規整備費用として現在と同規模の額(39億9千万円)を確保できたとしても、実際にはその1.2倍の費用が必要という結果となりました。【公共施設の更新費用の試算】

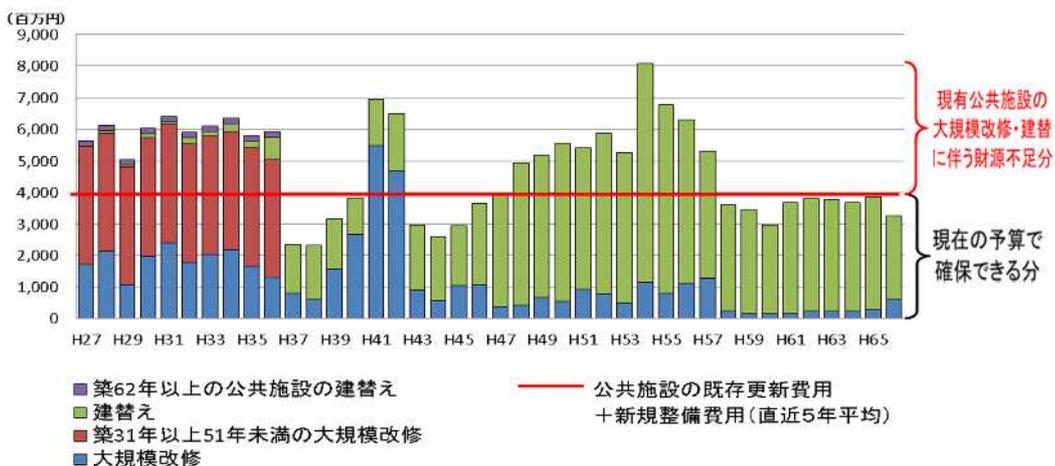
データの見方【公共施設の更新費用の試算】

分析方法

- ・更新費用の試算には「公共施設更新費用試算ソフト(総務省提示)」を使用しています。
- ・対象施設は平成27年3月31日時点で津山市が保有している床面積50㎡以上の施設を対象としています。
- ・現在津山市が保有している全ての施設を、現在と同じ面積で更新(建替)すると仮定して「整備年度ごとの延床面積×更新単価」で試算しています。
- ・耐用年数は60年とし、建築後30年で大規模改修、その後30年で建て替えると仮定しています。
- ・財政データは平成22年度から平成26年度までの歳出決算額の投資的経費から公共施設に要する経費を抽出し、平均額約39億9千万円を公共施設の投資的経費分として比較基準値に設定しています。

公共施設の更新費用の試算

現在までの ストック 46.0万㎡	今後40年間の 更新費用の総額 1,913.5億円	公共施設の既存更新費用 +新規整備費用(直近5年平均) 39.9億円	今後の更新費用の試算(単年平均) 47.8億円 【直近5年平均予算額の1.2倍】
-------------------------	---------------------------------	--	--



しかしながら実際には、小・中学校のように、既存の事業計画に基づいて計画的な大規模改修が完了し、長寿命化が図られた施設や、逆に新規入居者の募集を中止している市営住宅のように、更新(建替)を行わず将来の廃止が決定している施設もあります。また、郷土博物館のように文化財に指定されている施設は建替を行うことが難しいため、将来にわたり大規模改修を繰り返していくことになるなど、現在保有している全ての公共施設を更新(建替)するわけではありません。

更新費用の面においても、投資的経費を構成する財源の中には、起債（借金）による資金が含まれており、直近5年間の投資的経費を構成する財源の中にも平成17年の市町村合併に伴う合併特例債の発行による資金が含まれています。この合併特例債は元利償還金の7割が地方交付税で措置される財政的に極めて有利な起債ですが、平成32年以降発行することができません。また、起債による財源確保にも限りがあり、実質公債費比率（＝地方自治体の収入に対する実質的な借金の比率）が25%以上になると財政健全化法による早期健全化団体となります。このため資金手当的な新たな起債の発行については特に慎重な判断が求められています。

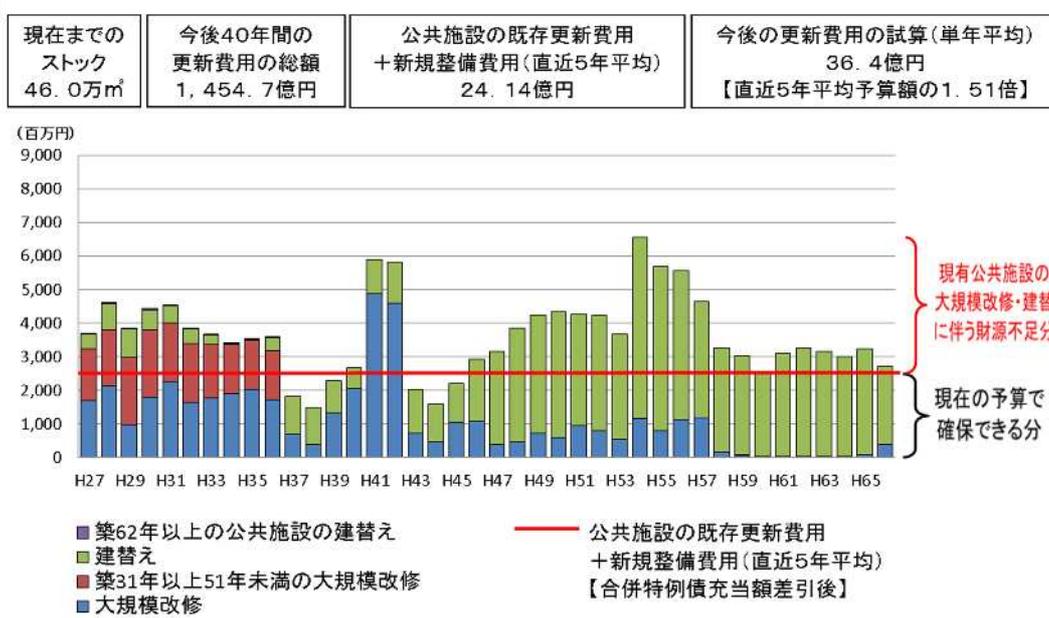
このような状況を踏まえて、より実態に近い試算を行うため、下記の手法により公共施設の更新費用の再試算を行いました。【公共施設の更新費用の試算】

データの見方【公共施設の更新費用の試算】

分析方法

- ・更新費用単価と対象施設は【公共施設の更新費用の試算】と同様とします。
- ・現時点で今後の方針が定まっていない施設は、耐用年数は60年とし、建築後30年で大規模改修、その後30年で建替えると仮定して試算しています。
- ・既に用途廃止され普通財産となっている施設や、既存の事業計画の中で将来の廃止が決定している施設は試算から除外しています。
- ・文化財に指定されている施設は、30年毎に大規模改修を繰り返すよう設定しています。
- ・これまでに大規模改修、長寿命化を実施した施設及び、近年中に実施が決定している施設は、その効果を反映した耐用年数を用いています。
- ・施設現地調査を実施した施設は、老朽化診断結果を反映した耐用年数を用いています。
- ・更新（建替）を行う公共施設は、現在と同じ面積で更新（建替）すると仮定して試算しています。
- ・財政データは平成22年度から平成26年度までの歳出決算額の投資的経費から公共施設に要する経費を抽出し、そこから合併特例債による財源を除外した平均額約24億1千4百万円を公共施設の投資的経費分として比較基準値に設定しています。

公共施設の更新費用の試算



第3章 個別施設の状況

津山市は小規模施設まですべて含めると、約 600 施設、1,600 棟余りの公共施設を保有していることがわかりました。

第3章では個別の施設の状況を「床面積」「築年数」「利用者数」の3つの視点から比較することにしました。「床面積」「築年数」はランキング形式で上位 50 位までを示しています。

1 床面積ランキング

津山市が現在保有している個別の公共施設の規模を比較するため、「建物総床面積(施設内に存在する建物の合計床面積)」が大きいものから順にランキングしてみました。公共施設は多くの方が利用する目的で設置された施設が多く、大規模な施設が数多く存在します。

上位 50 施設を分類別にみると、「小・中学校(31 施設)」が最も多く、次いで「市営住宅(5 施設)」「市庁舎(3 施設)」と続きます。

規模	順位	施設名	所在地(代表地番)	施設総延床面積(m ²)	
10,000m ² 以上	1	アルネ・津山	津山市新魚町 17	28,265.11	
	2	市役所本庁舎	津山市山北 520	15,490.04	
	3	北陵中学校	津山市大田 160	11,692.01	
5,000m ² } 10,000m ²	4	鶴山中学校	津山市山北 290	10,710.08	
	5	中道中学校	津山市勝部 355	10,613.83	
	6	津山東中学校	津山市押入 1110	10,201.91	
	7	津山西中学校	津山市二宮 1256 - 1	9,946.76	
	8	津山浄化センター	津山市川崎 295 - 1	8,089.75	
	9	林田小学校	津山市川崎 850	7,097.03	
	10	勝北中学校	津山市原 371	6,815.55	
	11	一宮小学校	津山市東一宮 87 - 1	6,557.19	
	12	高野小学校	津山市高野本郷 1041	6,280.04	
	13	北小学校	津山市山北 238	6,214.42	
	14	野介代市営住宅	津山市野介代 605 - 2	6,056.15	
	15	高野市営住宅	津山市高野山西 432 - 1	5,939.72	
	16	鶴山小学校	津山市志戸部 121	5,837.13	
	17	加茂中学校	津山市加茂町桑原 280	5,795.11	
	18	河辺小学校	津山市国分寺 505	5,677.81	
	19	東小学校	津山市山北 740	5,627.52	
	20	南小学校	津山市昭和町2丁目 73 - 1	5,611.36	
	21	弥生小学校	津山市大田 121	5,364.21	
	22	院庄市営住宅	津山市院庄 803 - 1	5,356.56	
	23	加茂町スポーツセンター	津山市加茂町中原 478 - 2	5,292.69	
	24	グラスハウス	津山市大田 472	5,276.15	
	25	久米中学校	津山市南方中 1487 - 1	5,078.22	
	2,800m ² } 5,000m ²	26	西小学校	津山市小田中 1360	4,883.97
		27	津山文化センター	津山市山下 68	4,797.51
		28	加茂小学校	津山市加茂町塔中 80	4,529.54
29		久米支所	津山市中北下 1300	4,514.88	
30		佐良山小学校	津山市皿 657 - 2	4,467.24	
31		大崎小学校	津山市金井 76	4,463.30	
32		丹後山市営住宅	津山市林田 928	4,439.49	
33		向陽小学校	津山市二宮 608 - 1	4,241.33	
34		久米総合文化運動公園	津山市中北下 1253	3,897.29	
35		高田小学校	津山市下横野 1075	3,770.48	
36		成名小学校	津山市野村 135 - 2	3,696.04	
37		環境事業所	津山市小桁 401 - 3	3,634.82	
38		勝北支所	津山市新野東 567	3,504.25	
39		草加部学校食育センター	津山市草加部 1466 - 1	3,490.06	
40		高倉小学校	津山市下高倉西 12	3,348.78	
41		阿波小学校	津山市阿波 1212	3,324.71	
42		新野小学校	津山市西中 591	3,313.10	
43		清泉小学校	津山市綾部 407	3,288.33	
44		院庄小学校	津山市院庄 1041	3,147.21	
45		広野小学校	津山市田熊 1943	3,073.88	
46		勝加茂小学校	津山市中村 125	3,005.43	
47		小原市営住宅	津山市小原 1272	2,941.82	
48		一般廃棄物最終処分場	津山市横山 648 - 1	2,933.61	
49		戸島学校食育センター	津山市戸島 921 - 6	2,896.82	
50		小田中浄水場	津山市津山市小田中2123-5	2,816.32	

2 築年数ランキング

津山市が現在保有している個別の公共施設の老朽化度を比較するため、「築年数」が大きいものから順にランキング（ 建築年が不明の施設は除く ）してみました。「築 60 年以上」は「駅舎」や「資料館」といった歴史的価値を有し、文化財として意図的に保存が進められている施設が占めています。一方「築 60 年未満」では市営住宅が多く見受けられ、今後の対応が急務であることがわかります。

また、「旧倉見分校」のように現在は使用されておらず、更新（建替）の予定は無いものの、活用の計画も無く、遊休施設としてそのまま残ってしまっているものもいくつか見受けられます。

築年数	順位	施設名	所在地(代表地番)	代表建築年度(年度)
築 60 年 以 上	1	苅田家町家群整備事業用地	津山市林田町 66 - 1	江戸後期
	2	苅田家住宅及び酒造場	津山市勝間田町 17	江戸後期
	3	城東むかし町家	津山市東新町 40	江戸後期
	4	武家屋敷(旧田淵邸)	津山市田町 93 - 1	江戸後期
	5	中島病院旧本館(城西浪漫館)	津山市田町 122	大正6年(1917)
	6	鶴山塾	津山市山下 87	大正7年(1918)
	7	旧洋学資料館	津山市川崎 823	大正9年(1920)
	8	作州民芸館	津山市西今町 18	大正9年(1920)
	9	美作千代駅	津山市領家 1710 - 2	大正12年(1923)
	10	滝尾駅用地	津山市堀坂 263 - 4	昭和3年(1928)
	11	JR知和駅	津山市加茂町小淵 918 - 4	昭和5年(1930)
	12	津山郷土博物館	津山市山下 92	昭和8年(1933)
	13	知新館	津山市南新座 26	昭和12年(1937)
	14	旧東中学校跡	津山市川崎 724	昭和27年(1952)
	15	旧倉見分校	津山市加茂町倉見 25 - 1	昭和28年(1953)
築 50 年 ～ 築 59 年	16	広野小学校(木造教室棟)	津山市田熊 1943	昭和31年(1956)
	17	林田市営住宅	津山市林田 1093	昭和33年(1958)
	18	小原市営住宅	津山市小原 1272	昭和35年(1960)
	19	八出市営住宅	津山市八出 603	昭和35年(1960)
	20	観光振興課物品倉庫	津山市河辺 1154 - 3	昭和36年(1961)
	21	一方上へき地保育所	津山市一方 1269	昭和37年(1962)
	22	阿波小学校(管理教室棟)	津山市阿波 1212	昭和38年(1963)
	23	加茂町民俗資料展示室	津山市加茂町小中原 70 - 5	昭和39年(1964)
	24	中央公民館 総社西分館	津山市総社 1391 - 2	昭和39年(1964)
	25	秀実小学校(管理特別教室棟)	津山市桑上 1	昭和39年(1964)
	26	三浦火葬場	津山市三浦 475	昭和40年(1965)
	27	院庄公民館 神戸山根分館	津山市神戸 147 - 2	昭和40年(1965)
	28	津山文化センター	津山市山下 68	昭和40年(1965)
	29	鶴山幼稚園	津山市小田中 184	昭和40年(1965)
	30	南小学校(教室棟)	津山市昭和町2丁目 73 - 1	昭和40年(1965)
	31	上原倉庫1、2	津山市加茂町塔中 553	昭和40年(1965)
築 45 年 ～ 築 49 年	32	中央会館	津山市昭和町1丁目9-3	昭和41年(1966)
	33	田邑公民館 榎分館	津山市上田邑 1833 - 8	昭和41年(1966)
	34	院庄市営住宅	津山市院庄 803 - 1	昭和41年(1966)
	35	八出市営住宅	津山市八出 1105 - 3	昭和41年(1966)
	36	市営住宅上村団地	津山市杉宮 731 - 5	昭和41年(1966)
	37	西幼稚園	津山市小田中 1364 - 1	昭和42年(1967)
	38	久米中学校	津山市南方中 1487 - 1	昭和42年(1967)
	39	愛山地内だんじり収納庫	津山市小田中 186 - 1	昭和43年(1968)
	40	河辺公民館 日上分館	津山市国分寺 693 - 4	昭和43年(1968)
	41	俵田市営住宅	津山市二宮 779	昭和43年(1968)
	42	上田邑市営住宅	津山市上田邑 2016 - 7	昭和44年(1969)
	43	西小学校	津山市小田中 1360	昭和44年(1969)
	44	向陽小学校	津山市二宮 608 - 1	昭和44年(1969)
	45	清泉幼稚園	津山市綾部 393 - 1	昭和44年(1969)
	46	中央公民館 西八出分館	津山市八出 996 - 2	昭和44年(1969)
	47	久米公民館柳分館	津山市南方中 842 - 1	昭和44年(1969)
	48	日上市営住宅	津山市国分寺 696	昭和45年(1970)
	49	東野介代市営住宅	津山市野介代 1600 - 1	昭和45年(1970)
	50	下高倉西市営住宅	津山市下高倉西 2303 - 2	昭和45年(1970)

3 利用状況比較

津山市が現在保有している個別の公共施設の利用状況を比較するため、身近な公共施設として「図書館」「文化施設」「公民館(地区館)」「博物館・資料館」「スポーツ施設」について、分類別に利用状況を比較してみました。調査の結果、それぞれの分類ごとで最も利用者が多い施設は「市立図書館」、「津山文化センター」、「中央公民館」、「津山洋学資料館」、「東部運動公園」となっています。

データの見方【利用状況比較】	
数値参照元	
・「利用人数」「利用件数」は平成26年度の利用実績を用いています。	

分類	施設名	所在地(代表地番)	利用人数(人/年間)	備考
図書館	市立図書館	津山市新魚町 17	346,117	
	久米図書館	津山市中北下 1270 - 1	34,593	
	勝北図書館	津山市新野東 587	32,355	勝北公民館との複合型施設
	加茂町図書館	津山市加茂町塔中 113 - 6	19,521	加茂町文化センターとの複合型施設

分類	施設名	所在地(代表地番)	利用人数(人/年間)	利用件数(件/年間)
文化施設	津山文化センター	津山市山下 68	83,064	1,373
	リージョンセンター	津山市大田 920	53,689	747
	文化展示ホール	津山市新魚町 17	49,074	67
	音楽文化ホール(ベルフォール津山)	津山市新魚町 17	47,022	687
	加茂町文化センター	津山市加茂町塔中 113 - 6	13,340	269
	勝北文化センター	津山市新野東 584 - 1	12,281	455

分類	施設名	所在地(代表地番)	利用人数(人/年間)	利用件数(件/年間)
公民館(地区館)	中央公民館	津山市大谷 600	44,909	3,002
	西苔田公民館	津山市小原 67 - 1	44,115	3,407
	一宮公民館	津山市東一宮 84 - 1	26,667	2,017
	城西公民館	津山市小田中 1312 - 10	25,631	2,235
	久米公民館	津山市中北下 1274 - 3	18,337	887
	高野公民館	津山市高野本郷 1683 - 2	18,215	1,608
	津山東公民館	津山市川崎 796 - 2	17,913	1,676
	勝北公民館	津山市新野東 587	17,496	1,282
	院庄公民館	津山市神戸 187 - 4	13,433	998
	津山市加茂町公民館	津山市加茂町塔中 104	12,834	1,048
	佐良山公民館(佐良山農業研修施設)	津山市平福 562	12,548	1,062
	二宮公民館	津山市二宮 1982 - 2	11,468	976
	河辺公民館(河辺農業研修施設)	津山市国分寺 592 - 8	11,400	1,122
	田邑公民館	津山市下田邑 114 - 1	10,044	827
	大崎公民館	津山市福力 221 - 1	9,814	898
	東苔田公民館(勤労者総合福祉センター)	津山市勝部 20 - 7	9,583	761
	高倉公民館	津山市下高倉西 58 - 4	9,559	1,002
	清泉公民館	津山市堀坂 256 - 2	7,857	537
	成名公民館	津山市野村 134 - 3	7,727	645
	広野公民館	津山市田熊 1927 - 4	6,916	318
	高田公民館	津山市下横野 855 - 2	4,903	385
	阿波公民館(山村開発センター)	津山市阿波 1204 - 1	4,779	344
	福南公民館	津山市押淵 376	2,944	308

分類	施設名	所在地(代表地番)	利用人数(人/年間)	備考
博物館・資料館	津山洋学資料館	津山市西新町 5	22,705	
	津山郷土博物館	津山市山下 92	7,553	
	弥生の里文化財センター	津山市沼 600 - 1	1,700	
	久米歴史民俗資料館・民具館	津山市中北下 1271	213	
	勝北歴史民俗資料館	津山市新野東 1126 - 1	112	
	沼住居跡	津山市沼 597 - 1	不明	
	阿波民具展示館	津山市阿波 2764 - 2	不明	
	旧洋学資料館	津山市川崎 823	0	
	加茂町民俗資料展示室	津山市加茂町小中原 70 - 5	0	

分類	施設名	所在地(代表地番)	利用人数(人/年間)	備考
スポーツ施設	東部運動公園	津山市川崎 1610	150,533	
	津山スポーツセンター	津山市勝部 20 - 2	131,381	
	久米総合文化運動公園	津山市中北下 1253	127,330	
	津山総合体育館	津山市山北669	91,777	岡山県施設
	津山陸上競技場	津山市勝部20-2	75,964	岡山県施設
	勝北総合スポーツ公園	津山市西下 1100 - 1	61,675	
	加茂町スポーツセンター	津山市加茂町中原 478 - 2	56,951	
	西部公園	津山市二宮 321	59,597	
	中央公園グラウンド	津山市山北669	62,818	
	加茂町武道館	津山市加茂町桑原280	20,991	
	阿波ふるさとふれあい会館	津山市阿波 3309 - 1	16,465	
	津山東体育館	津山市林田1514	14,874	岡山県施設
	弓道場	津山市山北 669	10,738	
	津山東武道場	津山市林田1514	10,710	津山市・岡山県共有施設
	阿波グラウンド	津山市阿波3303	6,430	
	西部小体育館	津山市院庄 1242 - 6	4,748	
	東部小体育館	津山市草加部 1186 - 1	4,611	
	草加部グラウンド	津山市草加部1186-1	4,028	
	勝北中学校夜間照明施設	津山市原371	3,132	
	ターゲットバードゴルフ場	津山市市場2149-1	652	

第4章 公共施設の抱える現状と今後の方針

1 現状と課題

人口の減少、少子高齢化社会に対応した公共施設のあり方の検討

津山市では「津山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、人口減少・少子化を食い止め、人口構造を維持するためのあらゆる施策を講じていくこととしていますが、それでもなお、全国規模で人口が減少していく中で、今後も津山市の人口は減少し続けることが推測されています。そしてそれは全ての世代が均等に減少するのではなく、生産年齢人口の割合が減少し、高齢者人口の割合は増加するという、いわゆる高齢化が一層進むというものでした。

高齢者人口の割合が増加することは、福祉や医療等の社会保障に関する経費の歳出に占める割合の増加を意味し、生産年齢人口の減少は市民税をはじめとする税収の減少につながることを示しています。歳入の減少は、歳出の抑制につながり、予算全体の中で社会保障に関する経費へ優先的に配分するとなれば、公共施設等の建設費や修繕費等は必然的に全体額を少なくせざるを得ません。

これまでは人口増加社会を前提に建設され続けてきた公共施設ですが、これからは人口減少、少子高齢化がより一層進む社会であることを前提に、公共施設や公共サービスのあり方を根本的に見直していく必要があります。

老朽化する公共施設への対応

全国の公共施設のほとんどが、高度経済成長期（昭和45年頃から昭和60年頃）に人口の増加に合わせて建設され、築後30年から50年で一斉更新を迎える時期が目前に迫っています。

これは津山市においても同様で、現在津山市が保有している施設の47%が、高度経済成長期に建築され、半数以上の公共施設が築30年以上を経過していることがわかりました。また、昭和56（1981）年以前に設計、建築された建物には、現在の耐震化基準を満たす義務付けがされておらず、全体の42.2%が旧耐震基準で設計、建築された建物になります。旧耐震基準に基づく施設のうち、小・中学校の耐震化工事は平成26年度にすべて完了しましたが、それ以外の施設についても災害時拠点施設のような重要性が高いものは計画的に耐震化を実施していく必要があります。

公共施設の保全・更新にかかる財政負担の抑制

津山市の市民一人当たりの公共施設延床面積は4.42㎡/人で、決して他の類似自治体と比べて大量の施設を有しているわけではありませんが、試算の結果、今後40年間に必要となる公共施設の更新費用として、現在の予算規模の1.51倍の費用が必要であるという事がわかりました。また、公共物には、建物いわゆるハコモノだけではなく、道路、橋りょう、上下水道管といったインフラも含まれます。インフラは日々の生活に直結する非常に重要な公共物であり、受益者がいる限り維持し続けていく必要があります。したがって、投資的経費、修繕費等はインフラへ優先的に配分をしていく必要があり、今後の財政状況を考えれば、すべての建物を更新するのではなく、公共施設の果たす役割、求められる機能や規模といった公共施設のあり方を、あらゆる面から今一度見直し、今よりも少ない施設数でも、いかに必要とする公共サービスを市民に提供し続けられるようにするという方法を考えていく必要があります。

2 公共施設マネジメント基本方針

【津山市公共施設マネジメント基本方針】

市民ニーズに対応した行政サービスを提供できる施設機能を、施設の安全性を確保しながら継続的に維持する

津山市では、様々な分野において、多くの公共施設を設置し、これらの公共施設は市民生活の向上に重要な役割を担ってきました。

しかし、今後の厳しい財政見通しの中、施設の老朽化に対応し、将来にわたり市民に必要な行政サービスを提供していくためには、公共施設をより戦略的な観点からマネジメントすることが大きな政策課題となっています。

津山市の公共施設が抱える現状と課題を踏まえ、将来必要な公共施設が更新費用等の見込みが立たず、老朽化し、管理が行き届かない施設とならないよう、「市民ニーズに対応した行政サービスを提供できる施設機能を、施設の安全性を確保しながら継続的に維持する」ことを基本方針として、次の取組を進めます。

取組1 公共施設の面積総量（総延床面積）の適正化と多機能化の推進

公共施設の更新費用の試算で明らかになったとおり、現在保有している全ての公共施設を今後も現状のとおり維持・更新することは不可能です。このため、将来の「人口規模や構造」及び「財源見通し」、また「施設の耐用年数」などを考慮したうえで、面積総量の適正化（縮減）に取り組めます。なお、取組においては、公共施設が担う機能や行政サービスはできる限り継続的に維持していくため、多機能化や複合化、統廃合、再配置を基本として進めます。

面積総量の適正化

人口推計（人口減少率：21.5%）及び財源見通し（財源不足率：33.7%）を踏まえて、**今後30年間で公共施設の総延床面積を現在の70%以下（約48万6千㎡ 約34万㎡以下）とすること**を目標とする。

施設の統廃合

設置目的や機能が重複する施設の整理（統廃合）を進める。

施設の多機能化・複合化

一つの施設に複数の行政機能を持たせることにより、設置目的や機能が異なった公共施設の整理（多機能化・複合化）を進める。

施設の再配置

今後の人口減少・少子高齢化社会に対応したコンパクトなまちづくりを推進するため、施設の利用状況や地域の実情に加えて将来のまちづくりも想定しながら、拠点となる区域などへの既存施設の集約・再編（再配置）を進める。

施設の更新

原則として廃止を伴わない新たな施設の建設は行わないこととし、既存施設の活用等では対応が

困難であり、住民福祉の向上や地域の活性化のため必要不可欠なもののみ新規建設を行うこととする。

また、施設を更新する際には、単にそれまでと同様の機能とするのではなく、既存施設との統廃合等による多機能的な施設とすることを基本とする。

取組 2 施設の長寿命化の推進

老朽化した部材や設備の更新、バリアフリー化や環境負荷を低減するための設備投資、利用状況の変化に応じた他の用途への転用など、建物の構造的な寿命を伸ばすとともに機能を高める改修を計画的に実施していきます。また、対症療法的な事後保全型の維持管理から、定期的な点検に基づく予防保全型の維持管理へ転換を図ることで、施設の長寿命化や安全・安心の確保、ライフサイクルコストの削減を進めていきます。

施設の予防保全

これまで各施設所管部署の判断によりそれぞれに行われていた大規模な修繕・改修等について、専門の担当部署での一元管理を行うなどマネジメント体制を整えることにより、より適正で将来を見据えた予防保全を行う。

基金の設置

公共施設の計画的な予防保全や改修を行う財源を確保するため、「津山市公共施設長寿命化等推進基金（仮称）」を設置する。

取組 3 公共施設の管理運営コストの縮減と財源の確保

効率的な公共施設の管理運営によるコスト縮減を図るため、民間活力や民間手法の導入を進めるとともに、市の公共施設マネジメント体制の整備を図ります。

民間活力・民間手法の導入

公設公営の原則にこだわることなく、民間施設の借り上げや民間の資金による整備について検討するとともに、指定管理者制度など民間手法による施設管理を進める。また、日常の維持管理においても、民間の持つノウハウを積極的に取り入れながらコストの縮減に努める。

地域団体や公益法人、その他公的な団体による運営がふさわしい施設については、団体が主体となった運営への転換や施設の譲渡等を進める。

マネジメント体制の整備

公共施設を一元的に管理する強力な推進体制を整備し、基本方針に基づいた効率的な運営をより一層推進する。

財源の確保

統廃合・複合化・再配置等により用途を廃止し未利用となった施設や余剰となったスペースについては、放置せず、積極的に民間等への売却又は貸付を行うこととし、それによって生まれた利益については、公共施設管理の財源として活用する。

また、計画的な施設長寿命化等を進めるため、「津山市公共施設長寿命化等推進基金（仮称）」について、毎年度一定の積立てを行うこととする。

取組 4 市民との情報及び認識の共有化

公共施設のマネジメントを進めていくためには、行政も市民も共に公共施設の現状と課題を把握し、理解することが重要です。津山市の公共施設を津山市民全員の財産として、この公共施設マネジメント方針に基づき、市民との情報及び認識の共有化を図りながら公共施設の最適な配置を進めていきます。

課題の共有

ホームページ、出前講座等あらゆる機会、手法を用いて幅広い年代の市民に対してこの取組についてわかりやすく理解していただけるように努め、津山市の公共施設の現状と課題、そして今後の方針の周知を図ることにより、行政と市民の課題の共有を図る。

将来を見越した市民ニーズの把握

公共施設の統廃合・複合化・再配置、更新等の整備を進めるにあたっては、市内各地域の特性や人口の特性（増減及び年齢構造）も踏まえた上で、全市的な課題として検討する。

公共施設白書の更新と公開

基本方針に基づく取組の進捗状況を明らかにするため、公共施設白書の公開及び定期的な更新を行う。

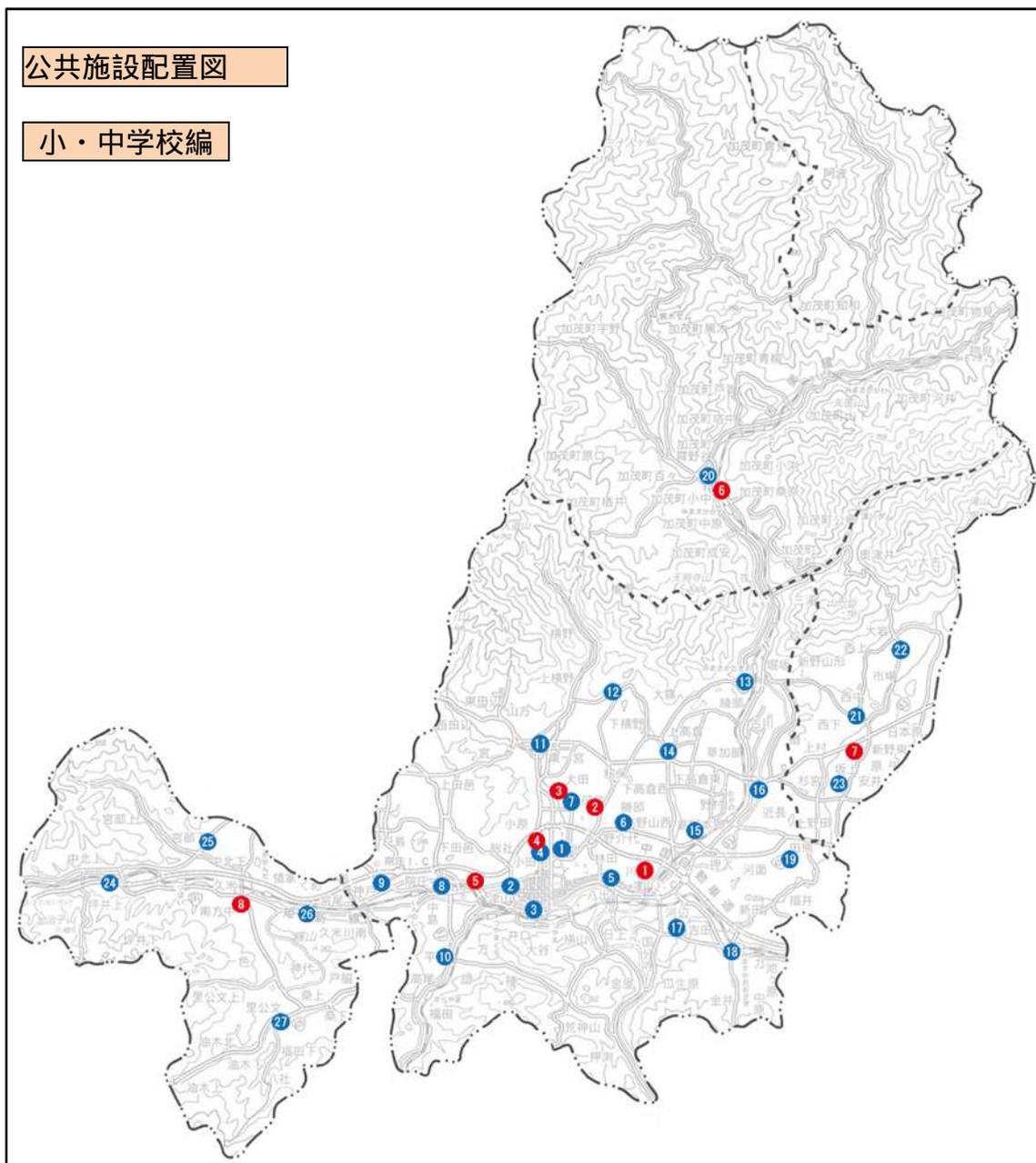
取組 5 個別の施設管理計画の策定

今後は、この公共施設マネジメント基本方針に基づき、公共施設の配置について、その機能や地域性などから総合的な検討を行い、国、県及び近隣自治体との連携も視野に入れて、最適化に向けた個別の施設管理計画の策定に取り組めます。

第5章 参考資料

1 公共施設配置図

身近な公共施設として、「小・中学校」「幼稚園・保育所」「公民館・公民館分館」「その他集会施設」「文化系施設」「スポーツ施設」「庁舎」「市営住宅」について、その配置を地図に示しています。



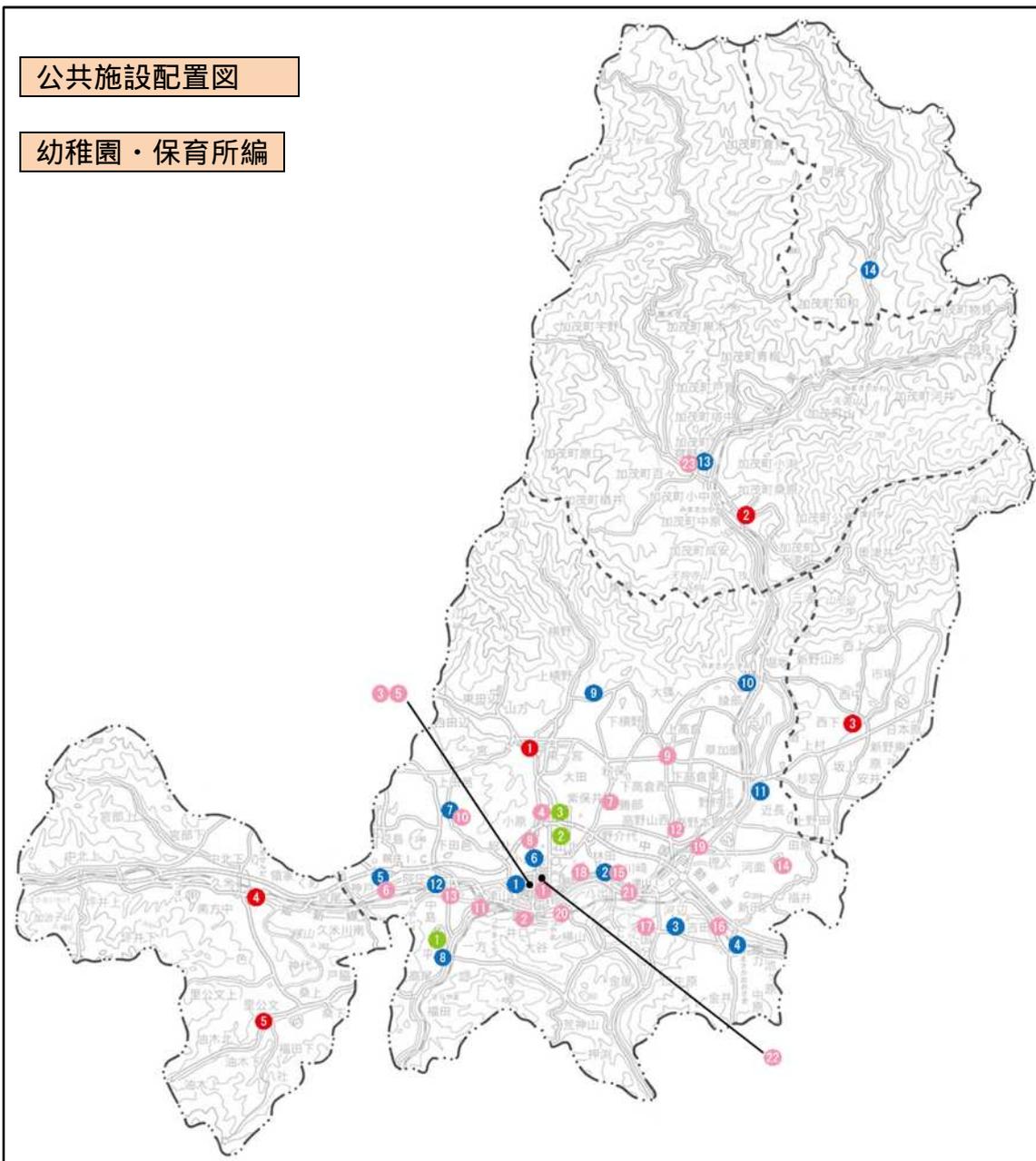
小学校				中学校	
①	東小学校	⑪	一宮小学校	⑳	新野小学校
②	西小学校	⑫	高田小学校	㉑	広戸小学校
③	南小学校	⑬	清泉小学校	㉒	勝加茂小学校
④	北小学校	⑭	高倉小学校	㉓	喬松小学校
⑤	林田小学校	⑮	高野小学校	㉔	中正小学校
⑥	鶴山小学校	⑯	成名小学校	㉕	誠道小学校
⑦	弥生小学校	⑰	河辺小学校	㉖	秀美小学校
⑧	向陽小学校	⑱	大崎小学校		
⑨	院庄小学校	㉑	加茂小学校		
⑩	佐良山小学校				
				㉑	津山東中学校
				㉒	中道中学校
				㉓	北陵中学校
				㉔	鶴山中中学校
				㉕	津山西中学校
				㉖	加茂中学校
				㉗	勝北中学校
				㉘	久米中学校

施設主要データ 小・中学校編

施設名	所在地	代表建築年度 (年度)	築年数 (年)	総延床面積 (㎡)	施設運営費 (千円)	児童・生徒数 (人)
(小学校)						
東小学校	津山市山北 740	平成 23	5	5,627.52	5,445	280
西小学校	津山市小田中 1360	昭和 44	47	4,883.97	9,652	205
南小学校	津山市昭和町 2 丁目 73 - 1	昭和 39	52	5,611.36	7,285	164
北小学校	津山市山北 238	平成 24	4	6,214.42	7,689	259
林田小学校	津山市川崎 850	平成 15	13	7,097.03	7,577	271
鶴山小学校	津山市志戸部 121	昭和 55	36	5,837.13	248,178	481
弥生小学校	津山市大田 121	昭和 55	36	5,364.21	598,607	583
向陽小学校	津山市二宮 608 - 1	昭和 44	47	4,241.33	348,665	282
院庄小学校	津山市院庄 1041	昭和 46	45	3,147.21	364,547	181
佐良山小学校	津山市皿 657 - 2	昭和 49	42	4,467.24	7,722	287
一宮小学校	津山市東一宮 87 - 1	平成 4	24	6,557.19	12,802	514
高田小学校	津山市下横野 1075	昭和 54	37	3,770.48	3,803	130
清泉小学校	津山市綾部 407	昭和 54	37	3,288.33	5,978	72
高倉小学校	津山市下高倉西 12	昭和 51	40	3,348.78	119,827	90
高野小学校	津山市高野本郷 1041	昭和 54	37	6,280.04	174,623	494
成名小学校	津山市野村 135 - 2	平成 9	19	3,696.04	5,056	102
河辺小学校	津山市国分寺 505	昭和 53	38	5,677.81	7,299	284
大崎小学校	津山市金井 76	平成元	27	4,463.30	4,917	205
広野小学校	津山市田熊 1943	昭和 59	32	3,073.88	4,084	92
加茂小学校	津山市加茂町塔中 80	昭和 48	43	4,529.54	9,204	230
新野小学校	津山市西中 591	昭和 58	33	3,313.10	5,419	127
広戸小学校	津山市市場 1080 - 1	平成 6	22	2,779.67	4,470	71
勝加茂小学校	津山市中村 125	昭和 56	35	3,005.43	3,606	127
喬松小学校	津山市坪井上 100 - 1	昭和 56	35	2,203.50	3,192	57
中正小学校	津山市宮部下 686	昭和 57	34	2,717.87	3,896	101
誠道小学校	津山市久米川南 919	昭和 60	31	2,581.77	3,575	97
秀実小学校	津山市桑上 1	昭和 39	52	2,812.41	3,437	82
(中学校)						
津山東中学校	津山市押入 1110	昭和 49	42	10,201.91	699,708	723
中道中学校	津山市勝部 355	昭和 60	31	10,613.83	8,266	420
北陵中学校	津山市大田 160	昭和 51	40	11,692.01	680,577	677
鶴山中学校	津山市山北 290	昭和 52	39	10,710.08	560,246	258
津山西中学校	津山市二宮 1256 - 1	昭和 52	39	9,946.76	640,689	505
加茂中学校	津山市加茂町桑原 280	昭和 47	44	5,795.11	7,787	124
勝北中学校	津山市原 371	平成 18	10	6,815.55	8,709	181
久米中学校	津山市南方中 1487 - 1	昭和 42	49	5,078.22	6,161	171

公共施設配置図

幼稚園・保育所編



市立幼稚園・保育所				私立幼稚園・保育園							
1	西幼稚園	廃	11	成名幼稚園	廃	1	明星幼稚園	7	やよい保育園	17	国分寺保育園
2	東幼稚園	廃	12	二宮幼稚園	廃	2	美作大学付属幼稚園	8	総社保育園	18	城東保育園
3	河辺幼稚園	廃	13	加茂幼稚園	廃	3	しらゆり幼稚園	9	高倉ひかり保育園	19	高野保育園
4	大崎幼稚園	廃	14	阿波幼稚園	廃			10	田邑保育園	20	福岡保育園
5	院庄幼稚園	廃			1	津山保育園	11	KOKKO保育園	21	東津山保育園	
6	鶴山幼稚園	廃	1	一宮保育所	廃	2	作陽保育園	12	高野第二保育園	22	田町保育園
7	田邑幼稚園	廃	2	公郷保育所	廃	3	城西保育園	13	二宮保育園	23	加茂保育園
8	佐良山幼稚園	廃	3	勝北風の子こども園		4	城北保育園	14	広野保育園		
9	高田幼稚園	廃	4	久米保育所		5	津山乳児保育園	15	林田保育園		
10	清泉幼稚園	廃	5	倭文保育所		6	院庄保育園	16	大崎保育園		

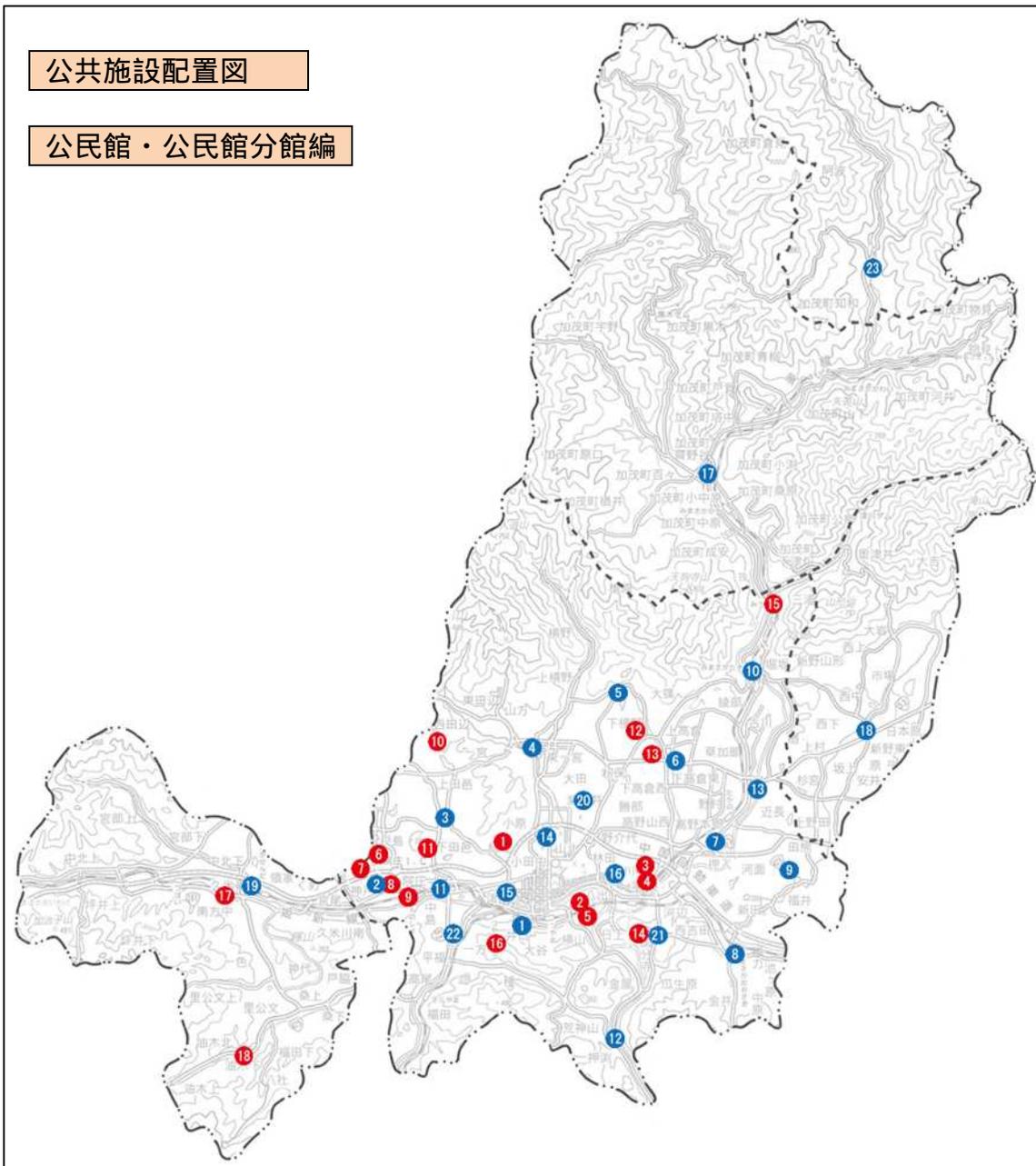
廃 は将来、廃止予定

施設主要データ 幼稚園・保育所編

施設名	所在地	代表建築年度 (年度)	築年数 (年)	総延床面積 (㎡)	施設運営費 (千円)	園児数 (人)
(市立幼稚園)						
西幼稚園	津山市小田中 1364 - 1	昭和 42	49	517.67	1,441	9
東幼稚園	津山市林田 767 - 1	昭和 48	43	604.34	1,960	47
河辺幼稚園	津山市国分寺 1122	昭和 51	40	520.12	1,295	29
大崎幼稚園	津山市金井 11 - 10	昭和 64	27	339.20	1,117	15
院庄幼稚園	津山市院庄 1041	平成 12	16	485.80	1,167	12
鶴山幼稚園	津山市小田中 184	昭和 40	51	675.00	1,592	60
田邑幼稚園	津山市上田邑 11	昭和 53	38	302.12	1,575	11
佐良山幼稚園	津山市皿 672	昭和 51	40	467.45	1,171	11
高田幼稚園	津山市下横野 1172 - 5	昭和 57	34	280.90	1,065	44
清泉幼稚園	津山市綾部 393 - 1	昭和 44	47	281.87	1,479	13
成名幼稚園	津山市野村 135 - 8	昭和 55	36	235.00	1,484	41
二宮幼稚園	津山市二宮 1977	昭和 52	39	388.40	1,186	13
加茂幼稚園	津山市加茂町塔中 147 - 1	平成 5	23	728.00	1,990	20
阿波幼稚園	津山市阿波 1788 - 1	平成 11	17	477.00	55	0
(市立保育所)						
一宮保育所	津山市東一宮 1227	昭和 53	38	786.79	5,761	121
公郷保育所	津山市加茂町公郷 1565 - 1	昭和 51	40	416.03	1,569	23
勝北風の子こども園	津山市新野東 600 - 1	平成 21	7	2,755.32	9,592	176
久米保育所	津山市南方中 1744 - 1	平成 10	18	1,398.88	5,687	155
倭文保育所	津山市里公文 1754 - 1	平成 21	7	925.62	3,390	66
(私立幼稚園)						
明星幼稚園	津山市平福 875-1	昭和 37	54	737.61	-	46
美作大学付属幼稚園	津山市北園町 75	平成 7	21	1,385.30	-	202
しらゆり幼稚園	津山市上河原 153	昭和 55	36	1,421.99	-	102
(私立保育園)						
津山保育園	津山市山下 30-6	平成 3	25	1,171.80	-	159
作陽保育園	津山市大谷 412-9	昭和 52	39	980.54	-	136
城西保育園	津山市小田中 1381-3	昭和 56	35	960.90	-	142
城北保育園	津山市上河原 217-5	昭和 51	40	1,207.47	-	173
津山乳児保育園	津山市小田中 1380-6	平成 22	6	739.48	-	52
院庄保育園	津山市院庄 1039-1	昭和 49	42	789.71	-	96
やよい保育園	津山市勝部 343-2	平成 17	11	1,230.36	-	177
総社保育園	津山市総社 27-1	昭和 51	40	1,071.88	-	117
高倉ひかり保育園	津山市下高倉西 813-2	昭和 51	40	701.70	-	130
田邑保育園	津山市下田邑 114-3	昭和 52	39	742.07	-	77
KOKKO保育園	津山市津山口 327	昭和 51	40	739.36	-	98
高野第二保育園	津山市高野山西 553-1	昭和 52	39	959.43	-	134
二宮保育園	津山市二宮 2170	昭和 53	38	570.86	-	103
広野保育園	津山市田熊 2169	昭和 51	40	593.38	-	90
林田保育園	津山市川崎 859-1	昭和 54	37	645.36	-	89
大崎保育園	津山市西吉田 36-1	昭和 54	37	653.97	-	97
国分寺保育園	津山市国分寺 454-2	昭和 54	37	994.00	-	138
城東保育園	津山市川崎 732-3	昭和 56	35	923.76	-	115
高野保育園	津山市高野本郷 1457-8	昭和 53	38	1,207.00	-	189
福岡保育園	津山市横山 1232	昭和 56	35	807.49	-	68
東津山保育園	津山市川崎 170-1	昭和 59	32	621.50	-	87
田町保育園	津山市田町 29	-	-	748.78	-	68
加茂保育園	津山市加茂町小中原 41	昭和 39	52	811.79	-	64

公共施設配置図

公民館・公民館分館編



公民館			公民館分館						
①	中央公民館	⑪	二宮公民館	⑳	河辺公民館	①	中央公民館 総社西分館	⑪	田邑公民館 瀬戸依田分館
②	院庄公民館	⑫	福南公民館	㉑	佐良山公民館	②	中央公民館 西八出分館	⑫	高田公民館 大篠分館
③	田邑公民館	⑬	成名公民館	㉒	阿波公民館	③	中央公民館 東野介代分館	⑬	高倉公民館 下高倉西分館
④	一宮公民館	⑭	西苫田公民館			④	中央公民館 上兼田分館	⑭	河辺公民館 日上分館
⑤	高田公民館	⑮	城西公民館			⑤	中央公民館 東八出分館	⑮	清泉公民館 三浦分館
⑥	高倉公民館	⑯	津山東公民館			⑥	院庄公民館 神戸山根分館	⑯	佐良山公民館 一方南分館
⑦	高野公民館	⑰	加茂町公民館			⑦	院庄公民館 神戸北分館	⑰	久米公民館 柳分館
⑧	大崎公民館	⑱	勝北公民館			⑧	院庄公民館 院庄北分館	⑱	久米公民館 油木分館
⑨	広野公民館	㉑	久米公民館			⑨	院庄公民館 院庄東分館		
⑩	清泉公民館	㉒	東苫田公民館			⑩	田邑公民館 榎分館		

公民館分館は将来、地元町内会へ譲渡予定

施設主要データ 公民館・公民館分館編

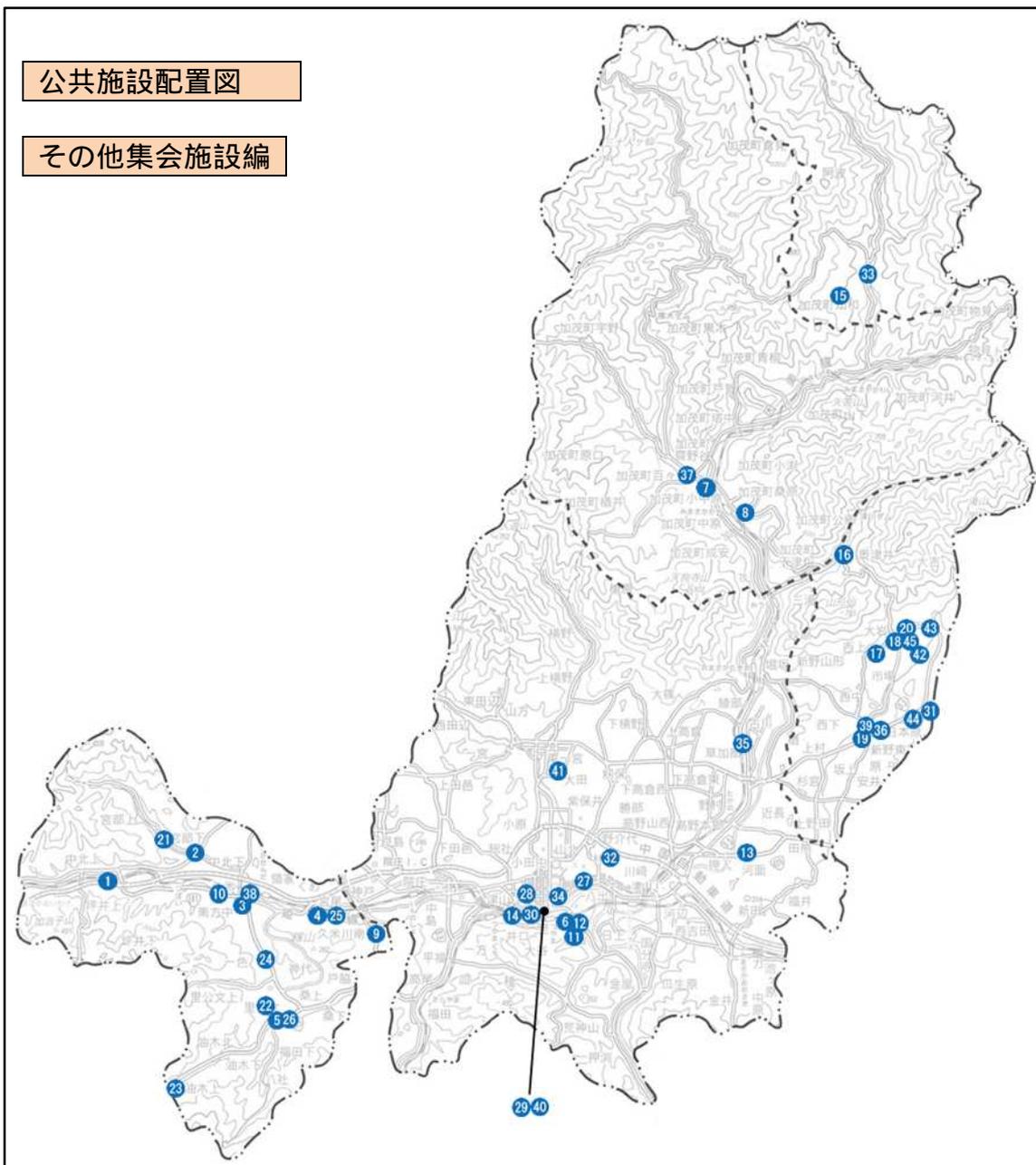
施設名	所在地	代表建築年度 (年度)	築年数 (年)	総延床面積 (㎡)	施設運営費 (千円)	利用者数 (人)
(公民館)						
中央公民館	津山市大谷 600	昭和 56	35	2,398.38	7,179	44,909
院庄公民館	津山市神戸 187 - 4	昭和 62	29	380.81	978	13,433
田邑公民館	津山市下田邑 114 - 1	昭和 63	28	871.70	1,513	10,044
一宮公民館	津山市東一宮 84 - 1	平成 9	19	547.29	3,298	26,667
高田公民館	津山市下横野 855 - 2	昭和 61	30	349.90	883	4,903
高倉公民館	津山市下高倉西 58 - 4	昭和 62	29	390.23	858	9,559
高野公民館	津山市高野本郷 1683 - 2	平成 2	26	624.00	2,812	18,215
大崎公民館	津山市福力 221 - 1	昭和 59	32	349.78	1,031	9,814
広野公民館	津山市田熊 1927 - 4	昭和 54	37	230.80	600	6,916
清泉公民館	津山市堀坂 256 - 2	昭和 53	38	299.97	833	7,857
二宮公民館	津山市二宮 1982 - 2	昭和 57	34	435.10	1,101	11,468
福南公民館	津山市押渕 376	平成 21	7	350.14	1,153	2,944
成名公民館	津山市野村 134 - 3	平成 3	25	386.88	1,571	7,727
西苔田公民館	津山市小原 67 - 1	平成 14	14	671.70	2,328	44,115
城西公民館	津山市小田中 1312 - 10	平成 19	9	546.43	2,076	25,631
津山東公民館	津山市川崎 796 - 2	平成 26	2	693.50	1,490	17,913
加茂町公民館	津山市加茂町塔中 104	平成 22	6	643.02	1,373	12,834
勝北公民館	津山市新野東 587	平成 9	19	1,039.18	1,629	17,496
久米公民館	津山市中北下 1274 - 3	平成 24	4	997.50	3,499	18,337
東苔田公民館	津山市勝部 20 - 7	平成元	27	1,869.46	15,684	36,663
河辺公民館	津山市国分寺 592 - 8	昭和 61	30	423.26	808	11,400
佐良山公民館	津山市平福 562	昭和 58	33	449.93	883	12,548
阿波公民館	津山市阿波 1204 - 1	昭和 57	34	997.53	2,023	4,779
(公民館分館)						
中央公民館 総社西分館	津山市総社 1391 - 2	昭和 39	52	167.82	271	2,500
中央公民館 西八出分館	津山市八出 996 - 2	昭和 44	47	148.50	308	250
中央公民館 東野介代分館	津山市野介代 1535	昭和 52	39	144.02	58	350
中央公民館 上兼田分館	津山市川崎 1686 - 4	昭和 55	36	132.86	139	656
中央公民館 東八出分館	津山市八出 669 - 3	昭和 60	31	132.20	66	258
院庄公民館 神戸山根分館	津山市神戸 147 - 2	昭和 40	51	172.69	325	1,007
院庄公民館 神戸北分館	津山市神戸 913 - 5	昭和 51	40	142.40	738	632
院庄公民館 院庄北分館	津山市院庄 999 - 3	昭和 54	37	189.97	341	779
院庄公民館 院庄東分館	津山市院庄 685 - 5	昭和 54	37	133.65	241	304
田邑公民館 榎分館	津山市上田邑 1833 - 8	昭和 41	50	164.98	342	200
田邑公民館 瀬戸俵田分館	津山市下田邑 1554 - 1	昭和 49	42	158.36	472	464
高田公民館 大篠分館	津山市大篠 517 - 3	昭和 50	41	146.77	125	254
高倉公民館 下高倉西分館	津山市下高倉西 1786 - 2	昭和 52	39	141.77	171	1,000
河辺公民館 日上分館	津山市国分寺 693 - 4	昭和 43	48	153.74	142	529
清泉公民館 三浦分館	津山市三浦 257 - 1	昭和 47	44	157.45	70	639
佐良山公民館 一方南分館	津山市一方 1194 - 1	昭和 57	34	132.80	311	138
久米公民館 柳分館	津山市南方中 842 - 1	昭和 44	47	144.00	226	427
久米公民館 油木分館	津山市油木下 635 - 6	昭和 57	34	138.50	351	1,228

注) 東苔田公民館は勤労者総合福祉センターを、河辺公民館は河辺農業研修施設を、

佐良山公民館は佐良山農業研修施設を、阿波公民館は阿波山村開発センターを指します。

公共施設配置図

その他集会施設編



その他集会施設

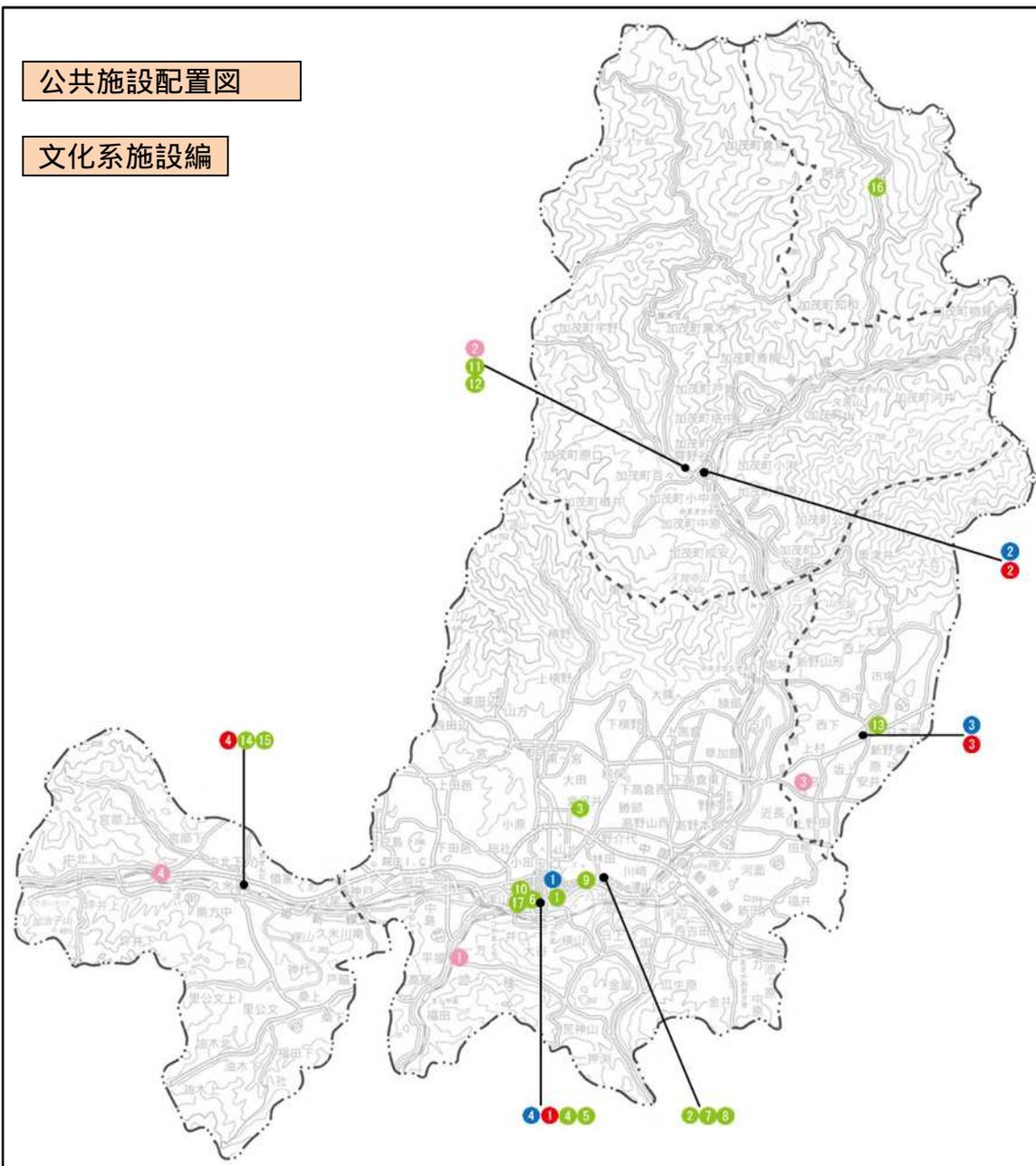
①	大井西ふれあい学習館	⑪	南横山集会所	⑳	河原寺公会堂	㉑	日本原保育所跡	㉒	リージョンセンター
②	大井東ふれあい学習館	⑫	東横山集会所	㉒	里公文公会堂	㉓	林田旭ヶ丘集会所	㉔	川東学習等供用施設
③	大橋ふれあい学習館	⑬	高野コミュニティハウス	㉓	谷集会所	㉔	阿波林業研修集会施設	㉕	大吉学習等供用施設
④	久米ふれあい学習館	⑭	コミュニティーセンター	㉔	神代集会所	㉕	雇用労働センター	㉖	日本原学習等供用施設
⑤	倭文ふれあい学習館	⑮	西谷公会堂	㉕	久米中公民館	㉖	綾部集会所	㉗	案内学習等供用施設
⑥	福岡会館	⑯	奥津川集落集会所	㉖	桑上公会堂	㉗	勝北老人憩いの家		
⑦	加茂中原会館	⑰	西上コミュニティ供用施設	㉗	作州城東屋敷	㉘	加茂町福祉センター		
⑧	公郷会館	⑱	広戸北コミュニティハウス	㉘	作州民芸館	㉙	久米保健センター		
⑨	大久保会館	⑲	エ門コミュニティ供用施設	㉙	地域交流センター	㉚	勝北保健福祉センター		
⑩	柳会館	㉀	大岩コミュニティハウス	㉚	ふれあいサロン	㉛	男女共同参画センター		

施設主要データ その他集会施設編

施設名	所在地	代表建築年度 (年度)	築年数 (年)	総延床面積 (㎡)	施設運営費 (千円)	利用者数 (人)
大井西ふれあい学習館	津山市坪井上 32 - 12	昭和 59	32	355.05	1,853	8,400
大井東ふれあい学習館	津山市宮部下 860 - 1	昭和 60	31	402.92	956	12,770
大倭ふれあい学習館	津山市南方中 1541 - 1	平成 4	24	383.37	1,085	4,374
久米ふれあい学習館	津山市宮尾 471 - 1	昭和 60	31	365.51	858	7,337
倭文ふれあい学習館	津山市里公文 1676 - 1	昭和 58	33	394.76	1,577	9,180
福岡会館	津山市横山 1232 - 1	昭和 61	30	349.90	1,787	9,171
加茂中原会館	津山市加茂町中原 87 - 1	昭和 56	35	243.44	1,175	5,655
公郷会館	津山市加茂町公郷 1604 - 1	昭和 56	35	263.78	1,357	3,985
大久保会館	津山市久米川南 2902 - 1	平成 15	13	326.50	628	3,520
柳会館	津山市南方中 556 - 2	平成 13	15	277.64	973	4,261
南横山集会所	津山市横山 969 - 2	昭和 55	36	28.09	0	-
東横山集会所	津山市八出 574 - 1	昭和 57	34	33.80	0	-
高野コミュニティハウス	津山市河面 1325 - 1	昭和 61	30	62.09	0	-
コミュニティーセンター	津山市井口 21 - 1	昭和 55	36	614.67	4,332	10,559
西谷公会堂	津山市阿波 873 - 1	平成 13	15	122.00	0	720
奥津川集落集会所	津山市奥津川 488 - 4	昭和 60	31	171.24	0	-
西上コミュニティ供用施設	津山市西上 339 - 1	平成 11	17	139.12	0	-
広戸北コミュニティハウス	津山市市場 1345 - 1	平成 2	26	162.50	0	-
工門コミュニティ供用施設	津山市新野東 588 - 2	平成 8	20	174.64	0	-
大岩コミュニティハウス	津山市大岩 567 - 1	平成 5	23	264.99	67	-
河原寺公会堂	津山市宮部下 1681 - 1	平成 12	16	87.32	0	-
里公文公会堂	津山市里公文 221 - 1	平成 12	16	155.58	0	-
谷集会所	津山市油木上 1051 - 4	平成 13	15	31.05	0	-
神代集会所	津山市神代 781 - 1	平成 13	15	146.73	0	-
久米中公民館	津山市久米川南 3387 - 1	平成 15	13	133.88	0	-
桑上公会堂	津山市桑上 446 - 2	平成 16	12	98.30	0	-
作州城東屋敷	津山市中之町 19	平成 5	23	516.11	2,801	7,389
作州民芸館	津山市西今町 18	大正 9	96	405.13	2,080	12,375
地域交流センター	津山市新魚町 17	平成 11	17	2,155.00	41,657	69,662
ふれあいサロン	津山市南新座 34	昭和 64	27	588.45	17,538	27,127
日本原保育所跡	津山市日本原 356	昭和 49	42	360.20	0	-
林田旭ヶ丘集会所	津山市林田 375 - 8	昭和 49	42	96.00	1	-
阿波林業研修集会施設	津山市阿波 1205	昭和 58	33	231.00	53	50
雇用労働センター	津山市山下 92 - 1	昭和 58	33	1,804.27	12,200	29,785
綾部集会所	津山市綾部 1774 - 10	昭和 51	40	144.22	0	-
勝北老人憩いの家	津山市新野東 1126 - 1	昭和 53	38	419.20	771	360
加茂町福祉センター	津山市加茂町小中原 143	昭和 63	28	1,219.61	6,930	18,490
勝北保健福祉センター	津山市新野東 664 - 1	平成 10	18	1,020.95	255	-
久米保健センター	津山市中北下 1300	昭和 63	28	660.06	563	-
男女共同参画センター	津山市新魚町 17	平成 11	17	506.93	4,334	16,686
リージョンセンター	津山市大田 920	平成 10	18	1,673.17	11,435	53,689
川東学習等供用施設	津山市大吉 44 - 3	昭和 45	46	147.83	0	-
大吉学習等供用施設	津山市大吉 580 - 1	昭和 47	44	158.84	0	-
日本原学習等供用施設	津山市日本原 381	昭和 52	39	141.91	0	-
案内学習等供用施設	津山市大吉 141 - 1	昭和 55	36	207.27	0	-

公共施設配置図

文化系施設編



文化施設		図書館		資料館・展示館系施設		陶芸施設	
①	津山文化センター	①	市立図書館	①	津山郷土博物館	①	健康農園陶芸・木彫の家
②	加茂町文化センター	②	加茂町図書館	②	津山洋学資料館	②	まなび館
③	勝北文化センター	③	勝北図書館	③	弥生の里文化財センター	③	勝北陶芸の里
④	ペルフォーレ津山	④	久米図書館	④	文化展示ホール	④	ふれあい陶芸センター
				⑤	地域交流センター	⑤	
				⑥	知新館	⑥	
				⑦	箕作邸	⑦	
				⑧	城東むかし町家	⑧	
				⑨	作州城東屋敷(たんじり展示館)	⑨	
				⑩	中島病院旧本館(城西浪漫館)	⑩	
				⑪	加茂町民俗資料館	⑪	
				⑫	加茂町民俗資料展示室	⑫	
				⑬	勝北歴史民俗資料館	⑬	
				⑭	久米歴史民俗資料館	⑭	
				⑮	民具館	⑮	
				⑯	阿波民具展示館	⑯	
				⑰	作州民芸館	⑰	

施設主要データ 文化系施設編

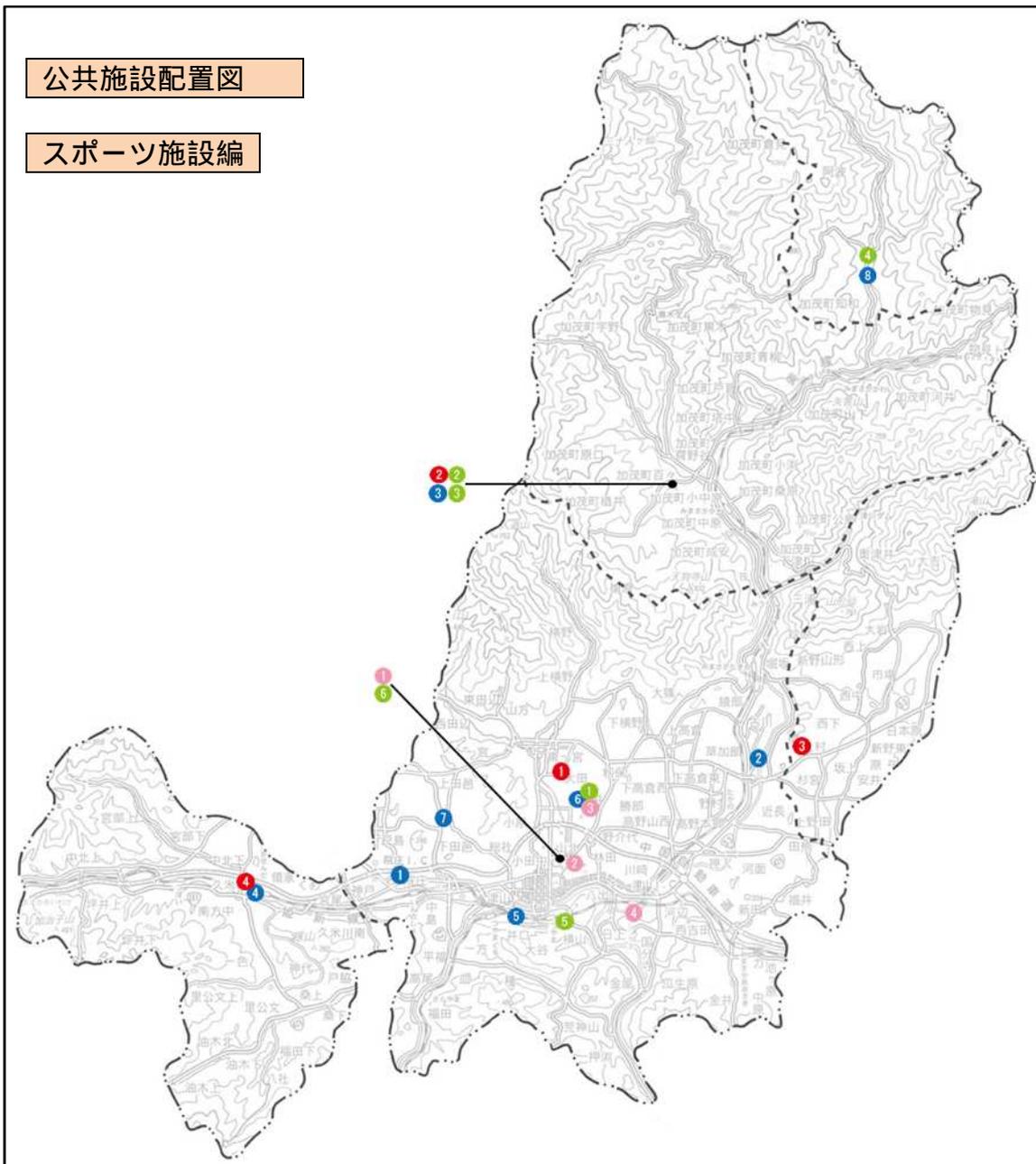
施設名	所在地	代表建築年度 (年度)	築年数 (年)	総延床面積 (㎡)	施設運営費 (千円)	利用者数 (人)
(文化施設)						
津山文化センター	津山市山下 68	昭和 40	51	4,797.51	83,064	83,064
加茂町文化センター	津山市加茂町塔中 113 - 6	平成 9	19	2,332.14	13,340	13,340
勝北文化センター	津山市新野東 584 - 1	平成 10	18	2,659.07	12,281	12,281
ベルフォーレ津山	津山市新魚町 17	平成 11	17	4,391.90	47,022	47,022
(図書館)						
市立図書館	津山市新魚町 17	平成 11	17	3,229.12	40,521	346,117
加茂町図書館	津山市加茂町塔中 113 - 6	平成 9	19	285.90	196	19,521
勝北図書館	津山市新野東 587	平成 9	19	502.08	54	32,355
久米図書館	津山市中北下 1270 - 1	平成 4	24	620.46	2,506	34,593
(資料館・展示館系施設)						
津山郷土博物館	津山市山下 92	昭和 8	83	1,997.11	14,239	7,553
津山洋学資料館	津山市西新町 5	平成 21	7	1,401.27	15,032	22,705
弥生の里文化財センター	津山市沼 600 - 1	平成 2	26	1,993.37	9,009	1,700
文化展示ホール	津山市新魚町 17	平成 11	17	508.88	6,170	49,074
地域交流センター	津山市新魚町 17	平成 11	17	2,155.00	41,657	69,662
知新館	津山市南新座 26	昭和 12	79	318.71	1,120	214
箕作邸	津山市西新町 6	昭和 51	40	148.86	2,263	9,119
城東むかし町家	津山市東新町 40	江戸後期	-	743.31	1,884	13,246
作州城東屋敷(だんじり展示館)	津山市中之町 19	平成 5	23	148.93	(注1) 2,801	(注1) 7,389
中島病院旧本館(城西浪漫館)	津山市田町 122	大正 6	99	243.56	6,963	9,949
加茂町民俗資料館	津山市加茂町小中原 143	昭和 63	28	1,219.61	(注2) -	(注2) -
加茂町民俗資料展示室	津山市加茂町小中原 70 - 5	昭和 39	52	645.40	25	0
勝北歴史民俗資料館	津山市新野東 1126 - 1	昭和 59	32	316.51	45	112
久米歴史民俗資料館	津山市中北下 1271	昭和 54	37	197.70	81	213
民具館	津山市中北下 1271	平成 4	24	269.00		
阿波民具展示館	津山市阿波 2764 - 2	-	-	113.00	28	-
作州民芸館	津山市西今町 18	大正 9	96	405.13	2,080	12,375
(陶芸施設)						
健康農園陶芸・木彫の家	津山市皿 870 - 3	昭和 55	36	48.00	0	380
勝北陶芸の里工房	津山市杉宮 708	平成 7	21	322.49	1,864	1,631
久米ふれあい陶芸センター	津山市中北上 1525 - 1	平成 11	17	220.16	707	249
まなび館	津山市加茂町小中原 71 - 1	昭和 45	46	397.06	135	623

注 1：城東屋敷（だんじり館）の施設運営費及び利用者数は作州城東屋敷全体の数値を掲載

注 2：加茂町民俗資料館は加茂町福祉センターとの一体施設のため、単独での数値は不明。（その他集会施設編を参照）

公共施設配置図

スポーツ施設編



体育館		プール		その他スポーツ施設		市有施設以外	
①	西部小体育館	①	グラスハウス	①	津山スポーツセンター(野球場ほか)	①	津山総合体育館(県・体育館)
②	東部小体育館	②	加茂町スポーツセンター	②	加茂町スポーツセンター(体操場)	②	津山東体育館(県・体育館)
③	加茂町スポーツセンター	③	勝北総合スポーツ公園	③	加茂町スポーツセンター(ゲートボール場)	③	津山陸上競技場(県・競技場)
④	久米体育館	④	久米レインボープール	④	阿波ふるさとふれあい会館(ゲートボール場)	④	緑水園体育館(衛生処理組合・体育館)
⑤	中央公民館体育館			⑤	福岡体育館(柔道場)		
⑥	勤労者総合福祉センター			⑥	弓道場		
⑦	田邑公民館体育館						
⑧	旧阿波小学校体育館						

施設主要データ スポーツ施設編

施設名	所在地	代表建築年度 (年度)	築年数 (年)	総延床面積 (㎡)	施設運営費 (千円)	利用者数 (人)
(体育館)						
西部小体育館	津山市院庄 1242 - 6	昭和 57	34	636.90	685	4,748
東部小体育館	津山市草加部 1186 - 1	昭和 59	32	622.45	1,884	4,803
加茂町スポーツセンター	津山市加茂町中原 478 - 2	昭和 58	33	1,162.62	(注1)15,685	11,477
久米体育館	津山市中北下 1253	平成 3	25	2,109.67	(注2)27,007	29,724
中央公民館体育館	津山市大谷 600	昭和 40	51	493.85	(注3)7,179	(注3)44,909
勤労者総合福祉センター	津山市勝部 20 - 7	平成元	27	1,869.46	15,684	36,663
田邑公民館体育館	津山市下田邑 114 - 1	昭和 29	62	521.64	(注4)1,513	(注4)10,044
旧阿波小学校体育館	津山市阿波 1212	平成 3	25	1,593.72	210	-
(プール)						
グラスハウス	津山市大田 472	平成 10	18	5,276.15	184,878	130,857
加茂町スポーツセンター	津山市加茂町中原 478 - 2	昭和 58	33	909.71	(注1)15,685	4,663
勝北総合スポーツ公園	津山市西下 1100 - 1	平成 2	26	659.98	(注5)20,129	9,775
久米レインボープール	津山市中北下 1253	平成 7	21	1,787.62	(注2)27,007	58,459
(その他スポーツ施設)						
津山スポーツセンター(野球場ほか)	津山市勝部 20 - 2	昭和 56	35	608.20	11,681	207,345
加茂町スポーツセンター(ゲートボール場)	津山市加茂町中原 478 - 2	平成 12	16	1,708.69	(注1)15,685	1,835
加茂町スポーツセンター(体操場)	津山市加茂町中原 478 - 2	平成 3	25	1,171.56	(注1)15,685	10,746
阿波ふるさとふれあい会館(ゲートボール場)	津山市阿波 3309 - 1	平成 5	23	1,395.00	1,042	17,900
福岡体育館(柔道場)	津山市横山 1234 - 1	平成 4	24	346.51	196	-
弓道場	津山市山北 669	平成 23	5	423.94	326	10,738

注 1 : 加茂町スポーツセンターの施設運営費は、加茂町スポーツセンター全体の施設運営費を掲載 (グラウンド等も含む)

注 2 : 久米体育館及び久米レインボープールの施設運営費は久米総合文化運動公園全体の施設運営費を掲載 (グラウンド等も含む)

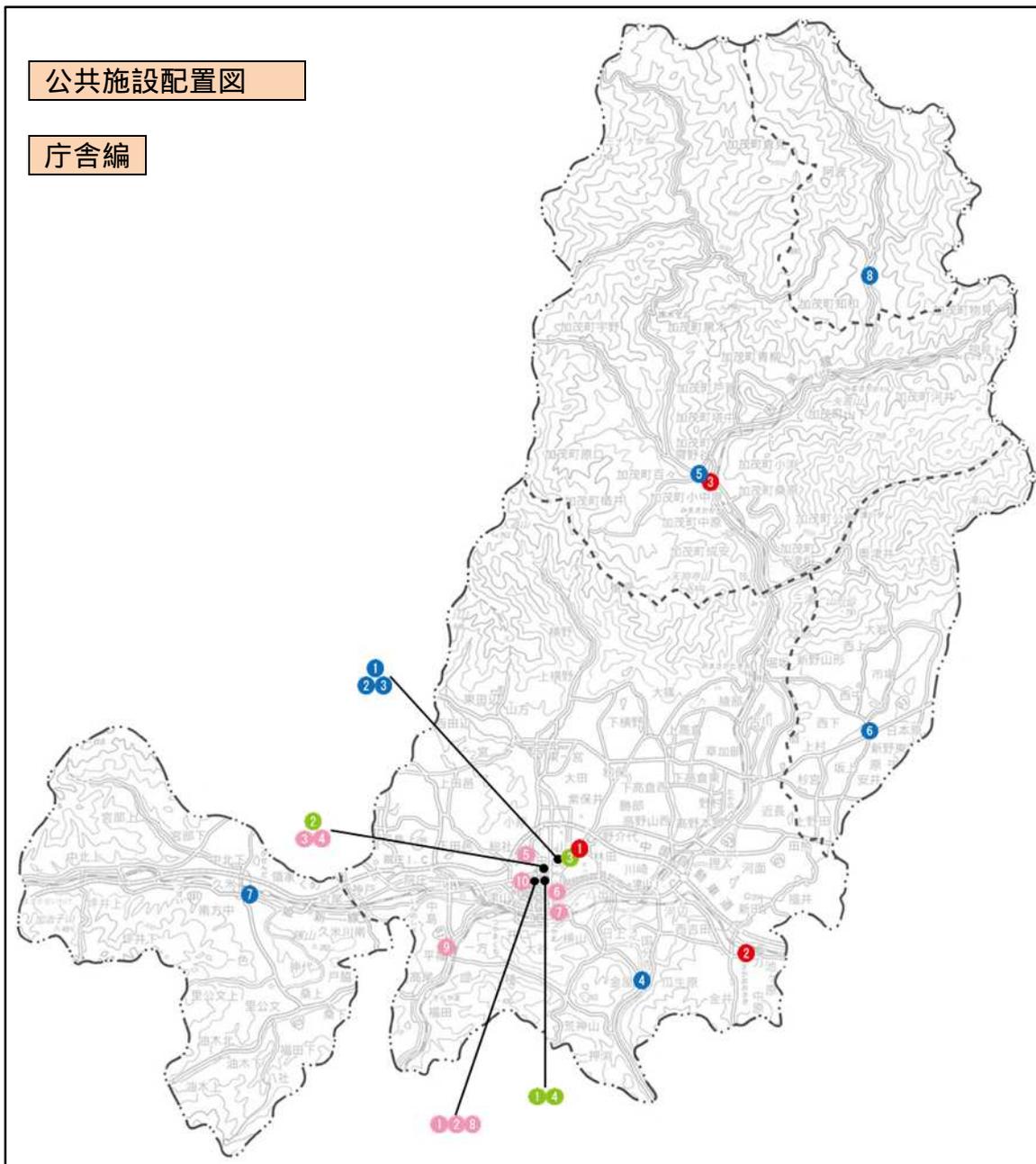
注 3 : 中央公民館体育館の施設運営費及び利用者数は中央公民館全体の施設運営費を掲載 (中央公民館 + 体育館)

注 4 : 田邑公民館体育館の施設運営費及び利用者数は中央公民館全体の施設運営費を掲載 (田邑公民館 + 体育館)

注 5 : 勝北総合スポーツ公園の施設運営費は勝北総合スポーツ公園全体の施設運営費を掲載 (野球場等を含む)

公共施設配置図

庁舎編

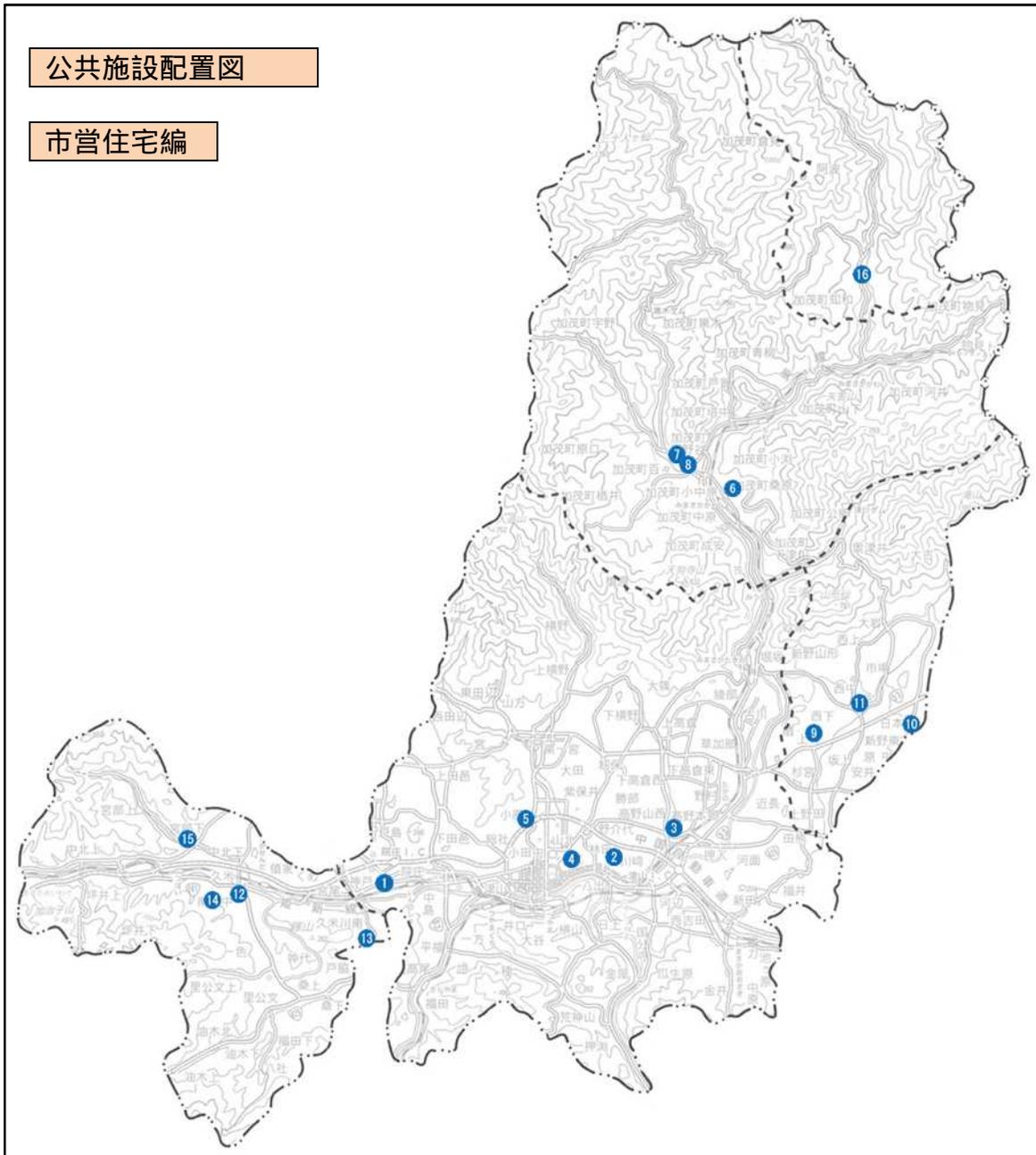


市有庁舎		津山圏域消防組合		主な県有庁舎		主な国有庁舎	
①	津山市本庁舎	①	組合本庁舎・津山消防署	①	美作県民局	①	法務局津山支局
②	東庁舎	②	東消防署	②	美作保健所	②	津山税務署
③	すこやかこどもセンター	③	加茂出張所	③	津山警察署	③	地方裁判所津山支部
④	環境事業所 廃			④	津山教育事務所	④	検察庁津山支部
⑤	加茂支所					⑤	津山拘置支所
⑥	勝北支所					⑥	労基署・職業安定所
⑦	久米支所					⑦	農政局津山支所
⑧	阿波出張所					⑧	岡山森林管理所
						⑨	国道事務所津山出張所
						⑩	津山防衛事務所

廃 は将来、廃止予定

施設主要データ 庁舎編

施設名	所在地	代表建築年度 (年度)	築年数 (年)	総延床面積 (㎡)	施設運営費 (千円)	利用者数 (人)
(市有庁舎)						
津山市本庁舎	津山市山北 520	昭和 57	34	15,490.04	92,001	-
東庁舎	津山市山北 663 - 1	昭和 50	41	2,701.02	9,952	-
すこやかこどもセンター	津山市山北 800 - 5	昭和 64	27	2,763.20	12,131	-
環境事業所	津山市小桁 401 - 3	昭和 51	40	3,634.82	367,038	-
加茂支所	津山市加茂町塔中 104	昭和 55	36	2,775.49	8,929	-
勝北支所	津山市新野東 567	昭和 60	31	3,504.25	13,416	-
久米支所	津山市中北下 1300	昭和 63	28	4,514.88	33,893	-
阿波出張所	津山市阿波 1209 - 4	平成 7	21	2,192.00	7,578	-
(津山圏域消防組合)						
組合本庁舎・津山消防署	津山市林田 95	平成 11	17	6,046.17	-	-
東消防署	津山市中原 71-4	平成 25	3	767.23	-	-
加茂出張所	津山市加茂町塔中 80	昭和 49	42	166.26	-	-



市営住宅		募集団地・大規模団地のみ	
① 院庄団地	⑤ 小原団地 廃	⑨ 朝吉団地	⑬ 権現団地 廃
② 野介代団地	⑥ 公郷住宅 廃	⑩ 日本原団地 廃	⑭ 森脇団地 廃
③ 高野山西団地	⑦ 斎野谷住宅 廃	⑪ 西中団地 廃	⑮ 宮部団地
④ 丹後山団地	⑧ 小中原住宅	⑫ 八千代団地	⑯ 中土居住宅

廃 は将来、廃止予定

施設主要データ 市営住宅編

施設名	所在地	代表建築年度 (年度)	築年数 (年)	総延床面積 (㎡)	施設運営費 (千円)	管理戸数 (戸)
院庄団地	津山市院庄 803 - 1	昭和 41	50	5,356.56	17,424	149
野介代団地	津山市野介代 605 - 2	昭和 49	42	6,056.15	19,700	148
高野山西団地	津山市高野山西 432 - 1	昭和 51	40	5,939.72	19,321	96
丹後山団地	津山市林田 928	平成 2	26	4,439.49	14,441	54
小原団地	津山市小原 1272	昭和 35	56	2,941.82	9,570	93
公郷住宅	津山市加茂町公郷 1046 - 1	昭和 62	29	367.95	1,197	6
齋野谷住宅	津山市加茂町齋野谷 6 - 1	昭和 57	34	600.84	1,954	10
小中原住宅	津山市加茂町小中原 53 - 1	平成 11	17	453.10	1,474	8
朝吉団地	津山市上村 216 - 1	昭和 54	37	1,985.50	6,458	31
日本原団地	津山市新野東 1833 - 4	昭和 47	44	389.46	1,267	10
西中団地	津山市西中 246	昭和 55	36	349.74	1,137	6
八千代団地	津山市南方中 1501	平成 11	17	2,183.73	7,104	26
権現団地	津山市久米川南 2295	昭和 46	45	333.60	1,086	8
森脇団地	津山市南方中 639	昭和 62	29	369.00	1,200	6
宮部団地	津山市宮部下 890 - 1	平成 15	13	417.28	1,358	6
中土居住宅	津山市阿波 1171	平成 11	17	922.59	3,001	10

暮らし、
ほんもの。



津山市公共施設白書

編集：津山市 財政部 財政課

発行：平成28年2月